〔大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

夕刊　四月十日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三三二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

滿洲國皇帝陛下 歌舞伎座御成

東京市の奉迎式へ臨御

【東京にて金久保特派員發】滿洲國皇帝陛下奉迎のため東京市では十日午後三時から歌舞伎座に奉迎式を擧行松本幸四郎、市村羽左衛門、尾上菊五郎等名優の演技を御高覽に供することゝなつたがこれより先市では午前十時から緊急市會を開き滿洲國皇帝陛下に捧げ奉る奉迎文を滿場一致可決した

觀兵式を拜觀 張將軍感激

【東京國通】九日の特命觀兵式に皇帝陛下に扈從して日本軍の偉容を拜觀するの光榮に浴した張海鵬上將は觀兵式終了後離宮に於て記念撮影をなしそれより濱離宮に於る鴨獵に打興じ午後三時四十分宿舍帝國ホテルに歸つたが、將軍は謹しんで左の如く語つた

今回圖らずも侍從武官長として皇帝陛下に扈從、目の邊り觀兵式を拜觀することを得ましたことは誠に光榮の至りです、我皇帝陛下には天皇陛下と御同列にて御乘、車諸兵に擧手の禮を以て應へ賜ひつゝ觀閲あらせられましたことは永遠に忘れ得ない感激です步騎工輜重空各隊の大分列式の堂々たる偉容に接して今更乍ら感嘆の外なく殊にタンクの行進には驚かされました、日本軍の科學的發達については全く驚くの外はありません

内田鐵相 御召列車に御添乘を申出る

【東京國通】滿洲國皇帝陛下御來訪以來鐵道省では御召列車運轉に就き萬全を期してゐるが、來る十五日皇帝が帝都を辭せられ一路京都に赴かせらるるに當り御召列車運轉に就き日夜肝膽を碎いてゐるが内田鐵相は今回の御召列車運轉が東京、京都間五一五キロの遠距離で八時間三十分に亘るので運轉保全の責任上敢て國務大臣としてゞなくとも鐵道の一職員として御召列車に御添乘申上げたき旨申出でたが鐵相のこの強き責任感には宮内省はじめ各方面でいたく感激してゐる

日滿實業協會 能姿木彫獻納

【東京國通】日滿實業協會では御來訪中の滿洲國皇帝陛下に對し奉迎表を捧呈併せて梅若萬三郎氏の能姿の木彫置物一組（牧俊高謹作）を獻納する事に決定十日正午副會長結城豐太郎氏が御旅館赤坂離宮に伺候する筈

松本幸四郎、市村羽左衛門、尾上菊五郎

公聽會を開いて 日本綿布輸入防遏

日本紡績聯合會でも對策考究

米國の日本綿布排斥

【東京國通】米國綿業は最近甚しく不振を示し、日本綿布進出の對策としては輸入割當乃至關税法改正により重課税賦課を以て輸入を防遏せんとする意見も有力化しつゝあるが、某所九日着電によれば、米國では來る五月十四日公聽會を開いて日本綿布の輸入阻止策を研究する事になつたと以上の如く米國に於る日本綿布の輸入防遏對策は最近漸く激化して居り、米國向きの輸出綿布は昨今愈々問題の中心となりつゝあるので、紡績聯合會では近日中に紡績聯合會日本棉花同業會、輸出綿糸布同業會の三社合同協議會を開催して對策を考究することとなつたが、目下の情勢では生産業者と輸出業者との自制的の統制を行はんとする氣運が濃厚であるので、此態度決定如何は相當米國に於る日本綿布排斥運動を緩和するものと觀られる

我國よりも

經濟視察團派遣の聲

【東京國通】最近我國經濟事情に對する世界の關心は相當熾烈なるものがあり、曩にはシンビー卿等の英國視察團の來朝あり、今回又米國視察團の來朝を見るに至り夫々經濟的親善方策に關する工作が頻りに行はれてゐるが、之を機會として日本側に於ても有力なる經濟視察團を組織して歐米諸國その他關係各國に派遣せしめ各國との經濟關係の圓滑を期すべしとの説が再び政府及び財界各方面に於て唱道さるるに至つた、即ち日本商品の世界的躍進に伴ふ防遏は各國の嫉妬或は誤解に基く反感も相當多いからこの際日本の立場を充分諒解せしめることは最も肝要な事で今後視察團を各方面に派遣して經濟外交の實質的效果を舉ぐべしとの聲が強い

米經濟視察團と會見後 高橋藏相語る

【東京國通】九日午後米國經濟視察團と會見、日米經濟關係の親善方策に就て隔意なき意見の交換をなした高橋藏相は會見後語る

世界經濟の安定方策に就ては先方から質問があつたので、我輩の持論である世界經濟の安定は戰債問題の解決が先決問題であると言つたら、視察團の人達は默つて了つた政治的關係に觸れたくないからだらう、一体歐洲の金本位ブロックは結局現狀を續ける事は出來ないだらう、やがて現狀が崩れて出直す事になるだらう米國視察團の眞の目的は支那を充分認識して行かうといふ點にあるらしい、從來歐米の支那に對する知識は支那に存在する一部の人の見聞とか、宣敎師を通じて知る程度で非常に淺い知識しか持つて居なかつたが今回の樣に有識な實際家が直接支那に出かけ事情を調査する事は非常に結構な事である

外國商人の活動をも阻止

▽……蘭印政府の暴擧

【神戸九日發國通】バタビア來電に依れば蘭印政府は日蘭會商の失敗に鑑み外國商品の輸入制限のみならず外國商人の活動をも阻止する目的で四月六日外國商人の信書、電話電信檢閲令を發布したと

日滿、日蘭連絡運輸 日本商議乘出す

【東京國通】日本商工會議所では九日午後日滿通絡運輸や

協和會視察團

東京各所を見學

（東京にて金久保特派員發）滿洲國協和會の日本視察團一行六十名は三月二十八日奉天を出發、日本視察の途についたが、途中京城久留米、熊本、別府、廣島、吳各地における商工業施設を見學五日午前六時五十五分入京した、神田錦町今城館に旅裝を解いた一行はそれより小川社會科長引率のもとに左の如き日程で帝都を見學した

五日（金）
午前一〇、〇〇 宮城 櫻田門（警視廳 陸軍省）
一一、〇〇 滿洲國公使館（青山墓地）
一一、三〇 明治神宮
一二、〇〇 外苑
午後一、〇〇 繪畫館（赤坂離宮）
二、三〇 靖國神社 遊就館
四、〇〇 旅館歸省

六日（土）
午前九、〇〇 皇帝陛下奉迎
午後二、〇〇 鐘紡サービスステーション（時事ビル）
三、〇〇 東京日日新聞
五、〇〇 増島邸

七日（日）
午前九、〇〇 中央卸賣市場
一〇、〇〇 上野公園科學博物館 動物園
午後二、〇〇 松坂屋デパートメント
三、〇〇 中央電話局

八日（月）
午前九、〇〇 青物市場
一〇、〇〇 滿洲國公使館
一一、〇〇 皇帝陛下奉迎
一二、〇〇 饗宴
午後一、三〇 東京帝大
三、三〇 拓務大臣官邸
六、〇〇 東京寶塚劇場

九日（火）
午前九、三〇 觀兵式
一二、〇〇 東京商工會議所 講演
午後二、〇〇 泰明小學校
三、〇〇 三井銀行
四、〇〇 三越
六、〇〇 淺草

四日間にわたる文化都市東京の視察を終へた一行は十日川崎の明治製菓工場、横濱展覽會を見學した後十一日山紫水明の日光の風光を觀賞、十二日午前十時三十分發名古屋に向ふ豫定である

美濃部博士に對し 起訴猶豫説有力

司法處分の結末を各方面重視

【東京國通】美濃部博士に對し殘る司法處分がどうなるかと各方面から注目を拂はれて居るが、司法部内には目下の所起訴説と起訴猶豫説との兩論があり當局は愼重に事を處せんとして居るが結局起訴猶豫となるのではないかとの説が有力に傳へられて居る

美濃部博士 心境を語る

【東京國通】問題の人美濃部博士はその三著書の發禁處分に就き左の如く心境を語つた

法律の適用に依つて行はれる制裁は甘んじて受けるより外は道はない、發禁になつた逐條憲法精義は十二版憲法撮要は五版を重ねて居る、いづれも十數年前から發刊してゐるのに今日になつて何故發禁處分の制裁を受けねばならぬのであらう、あの著書が法令に觸れるものなら今日まで見逃して來た歷代の内務大臣には當然責任があるだらう、又自分の學説が惡いといふのなら昨年まで永い間大學敎授として憲法講座を受持つた自分を處分しなかつた歷代の大學總長や文部大臣も必然的に責任が生ずるだらう、こゝに自分の不可解な點がある、自分は議員も拜辭しない、商大の講師も中央も早稻田も自分からは辭めないつもりだ

在支總領事會議 第二日の議事

【上海九日發國通】在支總領事會議第二日は九日午前十時より公使館事務所に於て開會先づ有吉公使より最近に於る日支關係に就きその實情並に意見を詳細に開陳して午前の會議を終り、午後三時再開、各總領事より對支政策特に對支經濟援助方針に就き意見を述べて之が是非を檢討し午後五時散會した

充實される全國裁判組織

治法撤廢を控へて

治外法權撤廢を控えて司法部に於ては法令の編纂並に監獄制度の整備に忙殺されてゐるが之と同時に裁判組織の充實に努め、治外治權撤廢の上は日本人の裁判をも行ふ事となるので全國の法院並に檢察廳に日本人裁判組織を充實すべく既に推事、檢察官、繙譯官書記官合せて五十餘名を日本より招聘して準備に努めて居るが、此度日本の大審院判事から滿洲國最高法院控事へ轉任の井野英一氏及び大審院檢事から最高檢察廳檢察官へ轉任の栗領文氏は本月中旬迄に着任の豫定であり、最高法院に於ては五人の推事を以て一廷を成す關係上非野推事の他に四推事も目下人選中でこのほか全國の法院、檢事局の人員合せて尙百五十人程を治外法權撤廢一段落までに日本より招聘する筈である

大田大使 十七日新京着

北鐵接收後の諸對策、石油、漁業、樺太買收問題等の打合せを了し十一日歸任の途に就く大田駐露大使は朝鮮經由で十七日新京着、大使館、關東軍等と打合せ二泊のうへ十九日新京發赴任する豫定である

石本總務部長

滿鐵總務部長石本憲治氏は十日午後七時二十分着列車でハルビンから、來京同八時發急行で歸連の豫定

その日く

□滿洲國政府朝鮮へ三領事館新設計畫、當分は近所だけのおつきあひでゆこうぜ

□美濃部問題、著書發禁、起訴猶豫でケリになりそう、今まで默過した罪を問はぬとは？

□新京鐵道事務所、けふ解消、本社序に地方事務所も解消、本社乘出しは如何

□電話相場七百圓を稱ふ、電々會社の創設はこの種弊を除くにあつたやうだが

□ながし馬車を禁止する由、都市美の上から不便ぐらゐは我慢せずばなるまい

人事往來

▲岩崎安美氏（航空會社常務）同
▲西環氏（精密機械電機商）十日午前來京國都ホテル投宿
▲別府龍氏（森永製菓重役）九日朝來京名古屋ホテル投宿
▲田中亮吉氏（陸軍少佐）九日午後來京名古屋ホテル投宿
▲田中良三郎氏（陸軍少佐）同
▲岡安武陽氏（東京、滿洲土木局員）同
▲木下源太郎氏（福井商店）同
▲楠賢二氏（同）同
▲福田守甫氏（同）同
▲中島靜夫氏（同）同
▲山本磯十郎氏（京都建築設計師）同
▲藤田少將（藤田部隊長）九日午後來京、十日午前發公主嶺へ
▲棚野二等軍醫正（新京衛戍病院長）九日午後着任
▲矢野機氏（憲兵少將）十日午前發奉天へ
▲齋藤中佐（關東憲兵隊司令部）同
▲水谷秀雄氏（群馬縣學務部長）同來京
▲中西敏憲氏（滿鐵社員會幹事長）同
▲中島宗一氏（同舊幹事長）同
▲佐藤三郎氏（陸軍中將）同發新站へ
▲西澤穗一郎氏（奉天會社員）九日午後來京ヤマトホテル投宿
▲川口喜十郎氏（東京會社員）同
▲三澤糾氏（東京帝國大學敎授）同十日午前發ハルビンへ
▲竹内德治氏（關東局殖産課長）九日午後來京ヤマトホテル投宿
▲長谷川喜作氏（關東局）同
▲熊本政之氏（同）同
▲太田知庸氏（營口領事）十日午前發營口へ
▲平田力氏（大通電業會社）同大連へ
▲岡本中佐（ハルビン碇泊司令官）十日午後來京愛國旅館投宿
▲松平正敏子爵十日午前來京同上
▲草野松雄氏（副領事）九日午後來京國都ホテル投宿
▲高畑誠一氏（哈市總局職員）同
▲セフイクメイン氏（商業）同
▲李夢白氏（哈市鐵路總局員）同
▲丁雲山氏（同）同
▲三井三子男氏（滿電）同
▲小塩正太郎氏（福昌公司）同
▲熊谷恭治氏（戶田組）同
▲尹泰東氏（間島省學務課長）同
▲兒玉常雄氏（航空會社社長）同

團体

▲大分縣竹田中學生五十二名十日午前七時三十五分來京同日午後四時發南行
▲佐賀師範學生三十五名十一日午後九時五十分來京十二日午後四時發南行
▲宮崎商業學生四十名十二日午前九時二十分來京、同日午後一時五十分發南行

■女八人感激時代■ 最後の切札八枚

（禁上映上演轉載）

（合作）柳 咲子……峯 岑 大林梅子……若水絹子 澤 蘭子……夏川靜江 木下双葉……飯田綠子（挿畫 大附良丈畫）

5 ……散歩（二）

＝誤解された純情＝ 若水絹子

「そんなことありません」と、永見は、なんとなく躊躇な調子で答へてゐた、若い異性と、行動を共にするなんてことは、いまゝでの球惠の生活には曾てないことだつた

それが、永見といつしよに劇場に行く……萬一そんなを他人に見られでもしたなら、どうしたものだらう？自分は、そんなことで個人の非難からも、うしろ指をさゝれたくはないと思つてゐたのに……でも、何も自分からそんなことを仕組んだことではないのだから、すこしも恥づるところはないのだ。

と、球惠はかう考へ直して

「では、御一緒にまゐりませうかしら？」

ならぬ。それはいゝとして、永見さんは、わたしに交際つていつまでかつてくださるかしら？……と、球惠は そんなことばかり考へてゐた。

四時半の退社時間になつたとき、球惠は、監理部の永見のゐる方へそれとなく入つてみた。社員はもう殆んどゐなくなつてゐたが、永見だけは、あたりを片づけながらまだ自分の机の前に腰を卸してゐた。球惠を見ると微笑して立上りながら

「あなたはどうなさいます、僕はこれから銀座へ行つて時間のくるまで、遊んでゐやうと思ひますが」

と、云つた。支度のいらない永見としては、最も洒落なやり

と、自分で自分の意を確めるように云つたのだつた。

「是非、どうぞ！」

永見は、球惠の顔を見詰るやうにして、誘ふような調子で云つた。

球惠は、この日一日、何故か仕事が手につかなかつた。或る外國商館へ宛出す手紙の文句を打つのに、二度も三度もやり損つたりした。

そして、仕事の間にも今夜の劇場のことを考へてゐた。永見さんといつしよに行くとして、どんな服裝をして行つたらいゝだらう？こんな平常の服裝なんかして行きたくない。どうせ音樂會だから、美しい着物や夫人達が、眼も彩やに着飾つてきてゐるに違ひないから、どんな服裝をして行つても自分なんか及びも付かないかも知れないが人から見られて、恥はれない程度だけはして行きたい。

それには、一度家へ歸らねば

だつた。だが、球惠は何か物足りない氣もちだつた。

「あたくし、家まで行つてまゐりますわ、そして着替へてまゐりたいと思ひますの……」

「さうですか、ではあちらでお目にかゝりませう？」

球惠は、結局その方が氣樂だとも考へた。外出着に着替へて龍野川から永見といつしよに電車に乘ることは尤も人眼につきやすいことだつた。それよりも劇場で落合ふやうにした方が、どんなに氣樂だか分らない。

球惠は、ひとりで龍野川まで着替へに歸るといふことが、すこしさびしく思はれたが、しかし、六時から永見と並んで一緒に音樂が聽けるかと思ふと、球惠の氣もちは、何となく躍り立つようだつた。

かの女が、二十一の今日まで持つてきた異性に對するつゝしみとでもいふものが、こゝろのうちで急速に崩れそて行つた。

京城、釜山、淸津に滿洲國領事館新設

對滿貿易上朝鮮側の要望で今年度豫算に計上

滿洲國として現在朝鮮には新義州に領事館を置いてゐるだけであるが、朝鮮側に於いて對滿貿易增進のために京城、釜山並びに淸津に領事館設置方の要望あり滿洲國はこれを應諾、上記三地に領事館新設を實現せしむべくその經費を今年度豫算に組み込んでゐる、近く決定を見る筈である

新京映畫鑑賞會內紛から分裂へ

原因は講堂使用回數の激減

一月二日創立興行を上映して以來十二回、延日數三十餘日に亙つて記念公會堂において

高級映畫

を市民に提供してゐた新京映畫鑑賞會に最近に至り內紛を生じてゐたところ七日上映の「百萬人の合唱」を最後に實際の經營者西田利七氏は同會から脫退することゝなり、從つて映寫機および技師、解說者等凡べて鑑賞會と分離するので、今後公會堂では映畫の上映は當分不能に陷つた、なほ西田、日高氏等脫退の原因は當初の約束に反し最近では講堂の

使用回數

が激減しこの狀態では今後經營をつゞけてゆくことは不可能である、といふにある、尙會員二百五十名を擁し亡骸同然のかたちで後に殘つた鑑賞會では更に陣容を改め新しく映寫機を購入して面目を一新上映をつゞける計畫であるが今後講堂使用の割當てが如何に振り當てられるか注視されてゐる

能樂家たちが打揃ひ新京へ

今夏八月滿支の旅

【東京國通】能樂が日滿親善日支親善の衣裝をつけて今夏八月約二十日間の豫定で朝鮮京城を振出しに大連、奉天、新京更に靑島上海にまで進出して日本古典藝術を兩國に紹介する事となつた、一行は寶生流宗家の重英、英雄(父子)の兩氏と向流の重鎭寶生新氏囃子は中堅の一流どころ、狂言は茂山忠三郎氏等總勢二十數名、番組は「隅田川」「井筒」「安宅」「連獅子」等の豫定である

新京中學校けふ入學式

新京中學校新入學生百八十九名の入學式は十日午前八時より同校にて擧行、一同敬禮、國歌二唱、矢澤校長勅語を捧讀次で訓辭をなし入學生總代松本成君誓詞を朗讀、父兄總代江部高女校長の挨拶ありて式を閉じ引續き保護者會を開いた……

新京商業もけふ入學式

新京商業學校の入學式は十日午前十時より同校講堂に於て擧行、赤塚校長の訓辭、入學生の誓詞朗讀等ありて閉式、引續き保護者の懇談會を開いた

滿洲國武官日本見學

滿洲國武官陸軍中將王永淸氏以下三十七名の日本見學團は九日正午軍政部に集合軍政部大臣、最高顧問の訓示をうけ同夜は大臣の招宴に臨み十日新京に滯在十一日午前十時新京驛發アジアで大連經由で渡日東京、大阪、神戶、奈良、宮島を見學し朝鮮經由五月八日午後五時三十分新京驛着にて歸京する豫定である參加者は左の如くである

中將王永淸、少將李久、少將賈金銘、少將李壽山、少將郭寶山、少將盧靜遠、少將高明、軍需上校周重衡、步兵上校蔡文三、騎兵上校宋殿才、步兵上校朱鳳陽、步兵上校希殷、步兵上校紀錫海、騎兵上校馬恩波、砲兵上校侯起堯、步兵上校楊春、騎兵上校傅恩魁、步兵上校趙有盤、步兵上校李全芳、砲兵上校吳國貴、步兵中校李毅、步兵中校于明甲、騎兵中校超克亮爾查、騎兵少校索特納木、憲兵少校劉達、騎兵少校金永福、騎兵少校哈斯巴德爾、騎兵少校包海明、砲兵少校鐵光

指導官

騎兵少佐田中春雄、騎兵少佐加藤源之助、步兵少佐小越信雄

隨行官

工兵上尉佐藤俊男、步兵上尉田中政行

通譯官

秘書官白土哲夫、陸軍步兵上尉磯部信雄、通譯官麻生達男

日本留學生に中等校長參加

文敎部は全國在職の優秀なる小學校敎員を選拔して日本に留學せしめた事は既に三回に及んだが、今四回は小學校敎員の外に中等學校及び師範學校の在職校長及び敎員を多數加へる事とし近く選拔試驗を行ふ事となつた、地方及び學校別は左の如し

地方別	初級小學	初級高級中學	師範學校	計
奉天省	二	二	二	六
吉林省	一	一	二	四
龍江省	一	一	一	三
濱江省	一	一	一	三
間島省	一	〇	〇	一
熱河省	一	〇	一	二
安東省	一	二	一	四
興安省	一	〇	〇	二
北滿特別區	一	二	〇	三
計	一二	一〇	一〇	三二

馬車のながしを今後は禁止する

新京署が交通訓練を實施

新京附屬地內を走つてゐる客馬車は每日約三千台自動車の數は約五百台を算しこれ等交通機關の取締は從來緩漫であつて交通事故のないのが不思議な位であるが新京署では近くこれ等交通機關及び一般通行人を取締るため「交通訓練」を行ふことになりその大体のプランが出來上つた、それによると

△自動車規則を勵行し今までの速力を減少し路幅により一定の通路を設定する

△客馬車は車体を淸掃し廢疾馬の使用を禁じ馭者の服裝を見苦しくないものにする駐車場を增設して流しを嚴禁する

△通行人は必ず人道を左側通行すること、路上の遊戲を嚴禁、保護者なき子供の路上獨り步きを禁ずる

等でこの交通訓練は滿洲國側と提携して行ふもので此の案は首都の面目を保つ上からもその實施は適切なるものとして期待されてゐる

日曜祭日續きの廿八、九兩日大連へお花見は？

驛とビユーローで團体募集

花の名勝大連星ヶ浦から花便りがありました……花に惠まれぬ北滿都人には羨しい便りだ、新京驛、ツーリストビユーロー新京案內所では恒例の星ヶ浦花巡りをちようど滿開になる二十八日、九日の日曜祭日(天長節)を利用して本年の新京旅行團体のトツプを切ると、募集人員は約百名、募集は十五日から二十五日迄驛ビユーローで受付ける、旅費は大体昨年と同額大人十五圓內外、小供十圓內外なほ詳細は追て發表の筈

楠公六百年祭記念行事略決る

法要、講演、楠公劇、展覽會

新京に於ける楠公六百年祭記念行事に就て九日午前十時から地方事務所に敎化聯盟の幹事野村、三宅、木下、宮崎、加藤、吉岡の諸氏會合、種々協議の末大体左の成案を得たので近く交渉を纏め確定する筈である、原案は

一、五月二十五日新京地方事務所新京敎化聯盟の主催にて會場を記念公會堂とし午後六時半より楠公六百年祭大法要を執行する式次は野村會社主事の挨拶、

一、金剛寺の住職を導師とし新京佛敎團參加、導師燒香參會讀經

一、歎德文(導師)武田委員長燒香全員默禱禮拜

右終つて引きつゞき七時から記念講演(を開く講師と演題(未交涉)

一、人間大楠公を語る武田委員長

一、死戰湊川合戰を偲ぶ野添中佐

一、忠臣大楠公を偲ぶ南大將

尙八時から日滿藝術協會の通中の楠公劇櫻井驛楠公父子訣別二場を上場するこれには例の「靑葉繁れる櫻井」の歌を合唱するため各學校生徒多數の應援を乞ふ豫定

又二十五、六兩日に亙り新京圖書館で楠公に關する文獻資料を蒐めた記念展覽會を催す

京濱線けふから夜間運轉開始

京濱線ではいよ〳〵今十日から夜間運行の第九、十旅客列車を運轉す、同列車の新京、ハルビン發着時刻は左の通り

△九列車(ハルビンゆき)新京發午後九時、ハルビン着翌朝六時三十分

△第十六列車(新京ゆき)ハルビン發午後十時、新着翌朝六時二十五分

三月中新京小賣物價

商工會議所の調査による三月中の新京小賣物價は百品目中對前月比騰貴十品、低落十六品、保合七十四品であるが騰貴並に低落品の主なるものは次の通り騰貴滿洲産糯米、大納言小豆、小豆、正宗撰特上素麵、豆腐、內地産福神漬、クラブ煉白粉、木炭(本溪湖小丸)安全マツチ低落押麥、白菜、馬鈴薯、大根、白玉粉、片栗粉、淸酒白鶴、菊正、蜂印葡萄酒、龜甲萬、罐鮭、モスリン

張上將故蜂須賀侯墓前に供養

【東京國通】滿洲國皇帝陛下の侍從武官長として滯京中の張海鵬上將は多年親交あつた蜂須賀正韶侯が去る昭和七年暮に逝去して以來弟を奪はれたやうだと往事を追憶してゐるが九日午後二時淺草の故侯爵墓前に隨官を遣つて花輪を供へ懇ろに冥福を祈つた、此の話題は日滿親交を增す日滿交驩の上に更に麗しい一エピソートを添へたものとして張上將の心事を讃へてゐる

滯京滿洲記者團首相、外相と會見

【東京國通】滯京中の新聞記者團一行は九日午後四時首相官邸で首相及び外相と會見、皇帝陛下御訪日に對する日本朝野を擧げての連日に亙る熱狂的奉迎を感謝したに對し兩相は皇帝陛下御訪日空前の御盛事は日本全國を擧げて歡喜に堪へない、日滿國交はこれより愈々緊密の度を加へるであらう、日滿兩國は永久に堅き提携をすべき關係にある而して提携は兩國民相互の充分なる諒解の上に打立てられねばならない、この意味に於て各位がこれよりよく日本の實情を各方面に亙つて視察されん事を希望する旨述べた

朱毛共産軍貴陽北方へ

【漢口九日發國通】貴州省北部より貴州軍を追擊して貴陽北方百支里の息烽に進出せる朱德、毛澤東の共產軍約二萬は目下(四月六日)同地にあつて待機の姿勢にあるが一方貴陽にある蔣介石氏は此形勢に大いに狼狽、薛岳の中央第四師を貴陽附近に集中する外廣東廣西軍約三個師及び貴州敗殘部隊を急遽前線に配し必死防戰を嚴命したが、過般來共產軍との激戰により剿匪軍は大打擊を蒙り兵力も半減したとさへ傳へられて居るが、今回貴陽附近中央軍の充實で共產軍の南下は喰止められる模樣である

徐軍喰止めに中央軍必死

【漢口九日發國通】四川北部に蟠居する徐向前の赤軍約六萬は三月末より活動を開始し既に蒼溪を突破進擊しつゝあり四川の盤踞地として知られた蟠亭、射洪を陥れ更に成都重慶間の連絡遮斷を企圖するものの如く之に對し中央軍は劍門山脈の嶮に據り共產軍の西進を喰止むべく嚴重な防備工事を施して居る尙過般蔣介石氏の命により田頌堯が處罰されて以來四川土着軍閥の間に著しく動搖の色あり、その成行は憂慮されて居る

結城書記官五月六日發

安東領事に轉任した大使館書記官柳谷秀夫氏の後任は本省から結城司郎次氏が來任することに決定した、なほ氏は五月六日神戶發の熱河丸で家族同伴赴任の途に就くはず

連結機の故障で京濱線遲着

九日午後七時二十分新京着京濱線第四旅客列車は定時より約一時間四十分遲れて午後九時三〇新京に到着した、原因は同列車が哈拉哈驛通過直後同五時三十分ごろ前から七輛目と八輛目と結ぶ連結器が挫折したためであつた

街の日記

電氣と建築當業者の座談會

滿鐵新京電業局の主催で十一日ヤマトホテルで午後三時半から五時まで電氣と建築座談會が催される、建築季節に入るので建築の一機能として電氣施設の必需性は文化生活の進展と共に益々重要性を加へつゝあるに鑑み當業者の密接不離なる提携をはかるにありとの見地から此催しとなつたものである

留守中に泥棒

新京新發屯祭智胡同二〇二番地井上實氏宅へ八日午前九時三十分頃から九日午前九時頃まで不在中窓硝子を破壞して何者か家內に侵入し手札型F四、五レンズ付寫眞機一個時價八十圓、同鞄時價三圓、スプリングコート一着時價三十圓、狐皮時價三十圓、狐皮襟卷時價二十圓合計百六十三圓の品物を窃取總領事館署に屆け出た

料亭大滿を前畑氏が繼承

富士町二丁目料亭大滿は此程ミス東洋の前畑氏が讓受け經營する處となり看板は備前家と變更近日開店の筈目下晝夜兼行で改築中であり敏腕家として周知の前畑氏料亭への進出は前途期待せられてゐる

廣石署長招宴

新京警察署長廣石郁磨氏は九日午後六時より在京新聞通信記者を大陸春に招き盛宴を張つた

けふの銀相場

國幣對金票	一〇九七〇〇
鈔票對金票	一〇三八〇〇
國幣對鈔票	〇二八五〇
現大洋對鈔票	一一三〇〇〇

范家屯に匪襲

【范家屯支局發】八日午後二時半頃范家屯西方附近に約八十名よりなる大匪團現はれ急報に接したる范家屯警察署においては川本署長指揮の下に直ちに出動五百米突の近距離において大激戰を演じたるも折柄の黃塵に惜しくも長蛇を逸した范家屯署においては非常の緊張裡に賊團を搜査中

ハワイ拳鬪選手日本人トミー君

【東京國通】ヘヴイーウエート、ボクシングの猛烈なスリルを我拳鬪フアンに滿喫させ樣と此程日本拳鬪聯盟の招聘でハワイから重體量選手一行四名が來朝したが、一行中最も强いと謂はれるトミー、ゴーラ君は計らずも日本人を父とする第二世である事が判り拳鬪關係狂喜の話題となつてゐる、父親は竹下松五郎と云ふ山口縣の漁師で明治七年太平洋の眞中で時化に遭ひ辛ふじて常春の樂園ハワイに着き同地でポルトガル移民メリーと云ふ美人と結婚、ゴーラ君はその末子として生れたもので、ゴーラ君は日本語はちつとも話せないが、親爺の國へ來たとて喜んでゐる

全米學生蹴球團歸國の途に

【東京國通】朝日新聞の招聘により來朝し日本各地で最初のアメリカンフツトボールの正しきプレーを紹介した全米學生蹴球團一行三十五名は九日午後三時橫濱出帆の日枝丸で歸國した

仙人掌

十三日から公會堂で娘義太夫でなく娘人形つかひが現はれる「文樂で使ふ人形のやうで足の無いのを十七八の娘が口でくわへて躍動させる珍な藝▲淨瑠璃の方は新京の義太夫天狗連中、曾我酒家の御大相生太夫を始めとし待合桐壺の主人公吉村さん、中村下宿のジヤングイ、宮崎ベチカの小泉さん、ミス東洋の前畑越登君、株屋射越屋の出張所長翁太夫なんて面々▲三味線はダイヤ街スミレの連中なんかゞ應援するといふのですつかり熱をあげてゐる樣だ、▲何しろ料理屋待合のオトウさんカフエーのマスターが出演するのだから後援の後援が大變だそれにまた、俺の贔負のあの妓が出るんだからといふ向もあり前人氣なか〳〵旺盛だ▲田中相生太夫の如きは今滿でも屈指の斯界の大だてもの新京素義新聲會を牛耳つてるデン〳〵屋さんである

天氣と氣溫

明日の天氣　西寄の風晴一時曇

日の出　午前五時五分
日の入　午後六時十七分
月の出　午前十時四十四分
月の入　午前一時二十五分

けふの氣溫　最高八度　最低零下〇、七度

館令第三號

新京居留民取締規則中左ノ通改正ス

昭和十年四月十日

在新京總領事　川村博

第五條ノ十二「石油輸出入及販賣業」ヲ「石油類ノ製造販賣及輸出入業」ニ改ム

同條五十ノ次ニ五十一トシテ「度量衡器ノ製造及修理並販賣業」ヲ加ヘ五十一ヲ五十二ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

新撰爆笑隊（禁上映 上演）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

時代篇

五三 珍版大津繪（八）

何でもあやまるに限ると思つて頓兵衛は平蜘蛛のやうになつた。

「うむ、ならぬ堪忍するが堪忍とは、東照神君の遺訓にもある。苦しうない。忘れてつかはすぞよ……これ／＼、頓兵衛とやら――」

「へえ、その女とは不思議な縁をもちまして、六七日の道中を共に致しました。」

「物ずきにも程があるぞよ。――其方共は、この女子を何者と心得る？」

「恐れながら……くはせものと存じまする。」

「最初からその心算で宿を共に致したか。」

「と、と、とんでもないこと……實は、少々遅ればせではございましたが、鐵山滑りから、ちと臭いと思ひました。」

「ははは、下司のちえは後からとは千古の金言ぢや。これ、鶴吉とやら其方も臭いと思ふたか」

「うえへッ……初めの内は、臨の匂ひをさせやがつたんでつひ、その……どうぞ、權現様の遺訓をもちまして、御勘辨のほどを……あッ、痛え／＼。」

「これ／＼、頓兵衛――わが身を抓つてひとの痛さをしれ。其方は何故あつて鶴吉の尻を抓るか」

「ははッ、同行鶴吉こと、野人禮に倣ひませず、口不調法の故をもちまして、頓兵衛、生きた心地も致しませず、冷汗三斗の手をふかうと存じましたトタンに……」

「他人の尻の邊へ手をやるとはさて／＼關東人は粗忽者オンパレぢやナ。――半薬そのやうなトンチキなればこそ、女道中師松風お菊などと怪しき泊りを重ねるのぢや――見るに忍びんぞよ。」

「恐れ入りまして御座りまする。シテ、これなる男は亭主奴にございまするか。」

「ははは、氣になるとみえるの。心配致すな。お菊の一乾分、豐川の楽平と申すウルサ方ぢや。」

「それでは、田舍廻りの役者凪右衛門の女房と申しますのも出鱈目でございますか。」

「いや、一座の花形と申すほどでもないが、とに角、亡夫は確かに俳優ぢやつた。」

「それが、ほんとに死にやがつたんで？」

「これ、鶴吉――あれ程痛いめにあふても、まだ未練があるナ」

「うえへッ……何もかも知つてやがる。あッ、畜生ー痛え／＼、お頓さん――よしねえ、また叱られるぜ。」

「こら、折角の宜見物を前に控へて、仲間われを致すな。――いかにも、其方共が當所に差出した白木の骨箱に嘘偽りはない。」

と役人が包みを披いて取出して見せたのは、太い白骨が二本？

「へえ、それッきりですか。」

「左様――これだけあれば申分あるまい。」

「恐れながら頓兵衛、お伺ひ申あげます。――たゞそれだけでは人骨やら犬の骨やら、判別致しかねると存じますが……」

「いや、このやうに太い奴は大抵馬の脚ぢや。」

「うわッ……やられた。」

洒落れたお白州もあるもので、旅の道づれには油斷をせぬが第一と、ひやかされて恐縮の頓兵衛と鶴吉――トンツルテンの歩調も浮かれ氣味で、目出度くも京は三條の大橋を渡れば、回數も丁度東海道に因む五十三……道中双六なら、上りといふところである。

明日より 現代篇 連載

ラヂオ

十一日（木曜）新京

（午前之部）

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 中等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、〇〇 中等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
七、二二 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 料理獻立（奉天）
一〇、二〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニュース（東京）

（午後の部）

〇、〇一 經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇 ニュース（滿語）
〇、四〇 ニュース（レコード）
〇、五〇 演藝（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 成人講座（滿語）公務員應有之精神 哈爾濱電業局 王管章
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間
五、二五 氣象通報 番組豫告（東京）
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 政府公報（滿語）
六、三〇 講演（東京）
一、農會の使命 帝國農會長伯爵 酒井忠正
二、我が國に於ける商品の單純化 臨時產業理局第一部長 藤田國之助

ラヂオ無料診斷
滿洲ラヂオ普及株式會社 新京營業所 電六三九三番

花の週間（第五夜）
七、〇〇 清元（東京）
吾妻櫻案袖土產（土佐繪）
淨瑠璃 清元千代太夫
同 清元梅王太夫
同 清元梅香太夫
三味線 清元 梅松
上調子 清元 梅丸
七、二五 漫才（大阪）
花に浮かれて 林田十郎 芦の家雁玉
七、四五 管絃樂（東京）
日本放送交響樂團
指揮 ロベルト、ポラック
ベートーヴエン交響曲連續演奏（第四回）
交響曲 第四番 變ロ長調
第一樂章 アダヂオーアレグロ、ヴイヴアーチエ
第二樂章 アダヂオ
第三樂章 アレグロ、ヴイヴアーチエ
第四樂章 アレグロ、マ、ノン、トロツホ
八、三〇 時報、ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況 氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇 演戲
閙江洲
大鼓 大 菱花
絃子 遲 松樵
銅胡 牛 杏春
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）
一、講演 タルイヂン 武士道と光榮の道
二、詩の朗讀
三、ニュース

ラヂオの御用は 東京無線 電四九二〇番

木曜 四舊 丁巳 月三 大安 十月 除 一九 斗宿 日日

●一白の人 目上識者の意見を尊重するが尤も安全の日 乙と丙と丁が吉
●二黑の人 慮ること深く秩序正しければ基礎大に定る 庚と辛と壬が吉
●三碧の人 物事纏れを生じ易し飲食物にも注意を要す 丙と丁と丑が吉
●四綠の人 壯圖半ばにして外邪に妨たげられ易し注意 丙と丁と丑が吉
●五黃の人 常業には吉なれども新規の事には危險伴ふ 庚と壬と癸が吉
●六白の人 何となく束縛さるゝ様な氣持ちの去らぬ日 丙と丁と庚が吉
●七赤の人 内外共に無事にして目上とも親しみ有べし 辛と壬と癸が吉
●八白の人 正しき道を踏み拔け目なくば思ふ所に達す 庚と辛と癸が吉
●九紫の人 目上に逆らはぬ様すべし外に在て失物注意 辛と癸と丑が吉

新進青年手合【其五】

先番 高川格（二段）
瀬川良雄（二段）

六段 久保松勝喜代講評

○三二 ちノ六	●三三 にノ六	○三四 にノ三	●三五 ほノ三
○三六 はノ三	●三七 ろノ四	○三八 ちノ四	●三九 ちノ三
○四十 とノ三	●四一 とノ五		

白三二と逃げ乍ら三八に頂け、黒三九、白四十の截り違ひを覘ふ。

黒三三は白に(い)と頂けさせ、其の拍子に黒(ろ)と堅める策戦である。

白三四と打つて黒の應手を問ふたのは、黒の意表に出でて面白い。

黒三五と約へた。

白三六と行びて伺も黒の様子を見る。

黒三七を(は)ならば、後に白三七、黒(に)白(ほ)黒(へ)白(と)の劫が殘る。譜の黒三七でも(は)の邊に味が殘つては居るが、此の邊の説明は後に記す。

白三八と頂け、黒三九と受けた其の時白四十と截り違へたのは、白三二以來の覘ひの行動である。

黒四一を(ち)は、白(り)黒四一とでも打てば、白(は)黒(ぬ)に白(る)黒(を)白(わ)と行び、黒(か)に一子打拔くと、次の白(よ)の當りがある。

大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　夕朝刊共十二頁

發行所 新京日日新聞社　發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

歌舞伎の殿堂に溢るゝ熱誠

東京市民奉迎式

我劇壇のベストスタッフの妙技に御感いと深く拜す

【東京國通】滿洲國皇帝陛下の東京市民奉迎式は春光洽ねき十日午後歌舞伎座に陛下の御臨場を仰ぎ、七百萬市民の誠意をこめて盛大に擧行された

○

この日光榮の式場に充てられた木挽町歌舞伎座は破風造りに雅びたる構へも晴れの式にふさはしく正面玄關には日の丸と五色の兩國大國旗が春風にはためき場內はきらびやかな御座を中心に紅白の幔幕、日滿小國旗など華やかに裝飾され三時頃から牛塚市長、落合、鷲尾兩助役、森、松永正副議長以下市、府會議員、區長、區會議員、自治功勞者、市關係銀行團、都下知名教育家、實業家其他各方面代表者並に岡田首相以下各閣僚、各省局長以上、東京府下の貴衆兩院議員等約千三百名が何れもフロック又はモーニングに威儀を正して御着を待ち奉るうちにやがて三時三十分皇帝陛下には林權助男以下の接伴員沈宮內府大臣以下の隨員を隨へさせられ諸員の奉迎裡に御着一旦御休憩室に入らせられた、同所では牛塚市長以下兩助役、正副議長に賜謁の後參列の諸員一同起立、滿洲國歌奏唱のうちに陛下には二階正面の御席に着かせ給へばこの時牛塚市長は舞臺中央の式壇に進み謹んで東京市の奉迎文を朗讀、市長の發聲で皇帝陛下の萬歲を三唱ここに式を終り陛下にはこの熱誠な奉迎にいとも御滿足の御模樣で再び起る滿洲國歌のうちに御休所に入らせられしばし御休憩の後再び御席に着かせられた

○

これより餘興に入り陛下の御旅情を慰め奉るために歌舞伎「勸進帳」を御覽に供したが藝題は名にし負ふ古典劇の粹、俳優は辨慶の幸四郎、富樫の吉右衛門、義經の宗十郎といふわが劇壇のベストスタッフのことゝて豪華な舞臺に邦樂の妙調を織り出す夢幻的雰圍氣は滿場を陶醉させ陛下にも歌舞伎の妙技に御感いとも御深く拜された、この間約五十分終つて御休憩室で東京市より獻上の美麗な屛風を御覽の後約三十分間に亘つて「紅葉狩」を御覽あらせられた、絢爛たる舞臺に菊五郎の更科姫、羽左衛門の平維茂の名コンビが火の出る樣な熱演を見せ終れば五時半皇帝陛下には極めて御機嫌麗はしく諸員奉送滿洲國歌奏樂のうちに歌舞伎座御退出御途中木挽町に停車中の花電車を御覽赤坂離宮に御歸還あらせらる

畏し 皇帝陛下

御寛ぎの中にも故國政情御軫念

【東京國通】滿洲國皇帝陛下には御入京以來東洋平和史上永劫不變の數々に公式盛儀を次々に終らせられ十日午前中には久方振りで御旅館に御寛ぎ遊ばされ春雨に煙る今を盛りの櫻等思ひ一入の風情を添へて御旅情を慰め奉々御內苑を賞美あらせられつつ側近の張侍從武官長工藤侍衛官長等に晴れの諸行事を無事御終了遊ばされた御喜びを御洩らし遊ばされ、御機嫌殊の外麗はしく特に御居間に御備へ遊ばされたラヂオで滿洲の模樣を御聽取遊ばさるる一方公使館を通じて送らるる本國の政情を遠藤總務廳長その他の隨員より逐次熱心に聞し召さるる等御寛ぎの中にも常に故國を御軫念あらせらるる大御心の深さに側近者一同感激恐懼してゐる

奉迎提灯行列 降雨で延期

【東京國通】十日夜の日比谷の滿洲映畫大會は雨のため中止、提灯行列は十一日に延期された

秩父宮殿下 隨員一同に賜餐

【東京國通】秩父宮殿下には滿洲國皇帝陛下扈從隨員の勞を犒らはせ給ふ思召しから十日正午宮邸に沈宮內府、袁尙書府、謝外交部各大臣、張侍從武官長等隨員一同を召され午餐を給はつた上種々有難き御慰勞の御言葉あり歡談を久しうして一同光榮に感激二時近く宮邸を退出した

牛塚市長捧呈の東京市奉迎表

【東京國通】牛塚市長は十日歌舞伎座に催された滿洲國皇帝陛下東京市民奉迎會において左の東京市奉迎表を捧げた

東京市長牛塚虎太郎、玆に東京市民一同に代り謹みて滿洲國皇帝陛下を咫尺に仰ぎ親しく奉迎の誠を表し奉るは眞に無上の光榮なり恭しく惟ふに陛下、天資英邁、夙に滿洲國の創業に當り衆望を容れて執政の重きに任じ次で天命を承けて帝位に即かせ給ふ

爾來萬機を總攬して王道樂土の建設に御精勵あらせられ、帝業日に成り月に進み國礎愈々鞏固にして德望天地に普ねし、これ實に滿洲國三千萬民衆の榮にして又洵に東洋の安定、世界の平和の爲慶賀に堪へざるところなり

陛下今遠く來航して我皇室を訪問あらせらる、古來盟邦の帝王公式來訪ありしは洵に陛下に始まる

我國上下此未曾有の盛事に遭ひ等しく欣悅を極む、且つ夫陛下の君臨せらるゝ帝國は我國と領土接近し安危を共にす、之を以て我國は夙に滿洲の治安開發に對し幾度か國運を賭し互資を傾け特に立國に際しては協力援助を致し更に群議を排し率先承認を敢行して斷金の交りを結べり、兩國は永く互に友邦の最善隣の尤たる可し

時將に春風駘蕩として一日花を競ひ山河悉く裝ひを凝らして陛下を迎へ奉る、殊に我が東京市は陛下駐泊の光榮を辱くすること旬日市民は屢々鹵簿を拜して恭悅措く所を知らず即ち東京市が滿場一致の議決を經て奉迎の意を捧げ五百萬市民と共に恭々しく萬壽の無窮を祝し奉り、併せて滿洲國の隆盛を祈る

昭和十年四月十日

東京市長　牛塚虎太郎　敬上

荒木大將に賜謁

【東京國通】荒木大將は皇帝の御召しにより十日午前九時春雨しとしと降る中を單身赤坂離宮に參入、狩の間で皇帝に謁を賜り御下問ある儘に滿洲事變當時の內外御狀況並にその後の國際事情等に就き詳細御應へ申上げたが畏くも皇帝には荒木大將が滿洲事變當時の陸相として滿洲國建國に對して爲した多大の貢獻に對し御鄭重なる感謝の御言葉を賜はつたと洩れ承る(寫眞は荒木大將)

美濃部氏の處分で機關說問題打切り？

事件の擴大波及を惧れて防止に腐心する政府

【東京國通】美濃部博士の憲法學說に對する政府の措置は九日の閣議に於て愼重協議された結果同日遂に問題の著書憲法提要、逐條憲法精義、憲法上の基本主義等の發禁の行政處分が發令されるに至つたが今後殘さるる問題として政府が他の諸種の憲法學說に對し如何なる取扱ひをとるかが頗る注目されて居る、即ち天皇機關說撲滅の氣勢は軍部を背景として居て美濃部博士のみを問題とせず更に宮澤東大教授、金森法制局長官等の一聯の憲法學者を總攻擊せんとの形勢にあるが、政府としては機關說問題の之以上擴大する事を惧れ機關說問題の美濃部博士の處分により他の方面へ波及することを阻止せんことを企圖し同博士の處分をもつて一個の安全辨たらしめんとしたものの樣である、從つて今回の處分に依つて他の憲法學者の自重を求めん事を期待して居るから今後右翼團體等が多少美濃部博士以外の同傾向の憲法學者を問題にするにしても美濃部博士一人の犧牲により事態を收拾し得べしとなして居る

中國銀行の使命は外國爲替處置の完全

—宋子文氏語る—

【上海十日發國通】過般の中國銀行改組に依り同行董事長に任命された宋子文氏は九日中國銀行の經濟方針、金融對策並に同行に對する政府の對策につき支那側記者に左の如く述べた

中國銀行の營業方針はその重要使命たる外國爲替取扱ひを完全に行ふことで中央銀行と競爭の立場を取ることとは絕對に無い、又中央、中國、交通三銀行に對する增資について政府の意向は中央銀行を諸外國に於ける中央銀行の如く銀行の銀行として國內諸銀行の業務を監督し合資中國銀行は爲替取扱機關とし交通銀行は國內商工業者の金融機關たらしめ等しくその機能を充分發揮せしめんとするに外ならぬ、最近政府の經濟統制實行說が流布され更に紙幣發行權の統制說等が傳へられてゐるが支那は他の國と事情が全く異つてる事を考へれば其實現は非常に困難な事が判らう

東洋一の放送所

【川口國通】A、Kの百五十キロ東洋第一强力放送所敷地として埼玉縣川口市近郊の高地三萬五千坪の買收契約が九日正式成立したので愈よ近く工事に着手し來年中に實際放送を始める事となつた、川口は第一放送所として三百メートルの大アンテナを立て第二放送所敷地としては隣接の鳩ヶ谷町地內高地二萬坪を近く買收する筈で二百メートルのアンテナが立ち偉觀を呈するだらう

佛ソ兩國間に軍事同盟成立

歐洲政局の不安

【パリ九日發國通至急報】ラヴァル外相は九日午前外務省にソ聯大使ポチョムキン氏を招致、會談二時間に亙つたが、その結果佛ソ兩國政府間には事實上軍事同盟が成立するに至つた

新盟案に對し バルカン諸國の支持公約

【パリ九日發國通】ラヴァル佛外相は聯盟規約强化工作後に於る佛ソ兩國政府の相互的義務を規定するポチョムキンソ大使との會見後更にルーマニア、ユーゴースラビア、チェッコスロヴァキヤ、ギリシヤ各國公使並にトルコ大使を招致、外相官邸に於て午餐會席上、佛ソ兩國間に成立せる盟案を內示、各國政府の支持を要請したものと解され、小協商國並にバルカン協約國關係國政府も之に同意、トルコ政府もソヴイエト聯邦との親善關係上支持を公約したものと解される

重視するに足らぬ 陸軍當局の觀測

【東京國通】佛ソ兩國軍事同盟成立說に就て陸軍當局は次の如く觀測してゐる

聯盟の力が益々微力となつて來た爲め、各國相互間に於る連繫運動が盛んに行はれて來たが、佛ソ間に於ける軍事同盟締結に就ても兩國間にその氣運が動いて來てゐる事實は認められる、然し直ちに同盟が成立したものとは受取れぬ、殊に佛ソ兩國は聯盟加入國であつて軍事同盟が締結されるとするもそれは祕密協約と疑はれるが、左樣な事は許されぬ所であり、殊に同盟の要旨が聯盟理事會に對し既成の事實を破壞に導くものに加へる制裁方法を强化する事を要求するのであれば益々容易に出來る問題ではない、米國が聯盟加入を今日迄躊躇してゐるのも此制裁問題の爲である點からも想像される、即ち陸軍では同盟成立說を重視しては居らぬ

カ英公使 北平へ歸任

【南京十日發國通】入京以來月餘に亘り當地上海間を往來して對支策動を續けてゐた英公使カドガン氏は九日外交部次長に會見、對支援助に對する國民政府の要求に考慮を約し九日當地發北平へ歸任した

松島氏等 新市場視察へ

【東京國通】外務省は前イタリー駐劄大使松島肇氏をしてペルシヤ、トルコ、アフガニスタンの近東地方、印度及南洋、蘭印一帶の所謂日本新市場地帶を巡閱せしめるに決定したが、殊に通商關係の視察調査をも並行せしめる事となり、特に若松通商局第三課長を隨行せしめる事となつた松島氏一行は五月上旬出發、約二ヶ月の豫定で巡閱を完了し、當該地方駐劄使臣並に民間當業者との事務連絡を圓滑ならしめると共に之等諸國政府當局との間に通商振興發展策に關し、協議を遂げる筈である

激增した北鐵收入

一億二千萬圓台

▽……本年度の豫想樂觀さる

【奉天國通】鐵路總局に於ける國鐵昭和九年度鐵道旅貨收入は全滿鐵道網の擴大と地方產業の開發に伴ひ一躍七千五百萬圓に達し昨年度五千四百萬圓に比し二千百萬圓の激增を示して居り、之に自動車線並に水運關係等その他雜收入九百萬圓を加算すれば總收入は八千四百萬圓となり國鐵の飛躍振りを有力に物語つて居る、而して本年度に於て北鐵全線接收並に新線の營業開始に伴ひ三千五百萬圓乃至四千萬圓程度の增收が見越され總收入に於ては一億二千萬圓臺突破を豫想されて居る

ラ佛外相 露都訪問決定

【パリ九日發國通】駐佛ソ聯大使ポチョムキン氏はラヴァル外相の午餐會終了後リトヴイノフ外務人民委員に秘電を發し

一、佛ソ兩國政府間の新協約に同意したこと

一、ラヴァール外相は來る二十三日モスクワ訪問に決した

旨報告した

貴州掃匪首席辭職

【漢口十日發國通】掃匪軍第二路第四縱隊司令貴州省首席王家烈氏は貴州に於る慘敗の責を負ひ九日國民政府宛辭表を提出許可され後任には蔣介石氏の腹心李仲公氏が推されてゐる

外務省人事

【東京國通】外務省辭令は左の如く發令された

外務事務官　蓑田不二夫

任大使館二等書記官　佛國在勤を命ず

外務書記官　土田豐

任外務事務官　通商局第二課長を命ず

ブラスバンド關係者協議

滿鐵新京ブラスバンドの準備はその後順調に進捗し目下その實現を急いでゐるが、同バンドでは滿鐵社會係音樂講師大連バンド樂長高津敏氏が十一日來京するので各關係者參集のうへ高津氏を中心にバンド計畫について協議する

和銀行資金逃避防止に努力

【アムステルダム九日發國通】オランダ銀行は九日公定割引步合を三分五厘より四分五厘に引上げた、同行は去る四月四日二分五厘より三分五厘に利上したばかりであるが金本位ブロックの不安に基く資金の海外逃避に堅實な防衛陣を張つたものと見られる

〃結果に就ては疑問だ〃 ＝日銀當局談＝

【東京國通】ベルギーの金本位離脫以來金本位ブロック中の最弱點としてギルダーへの集中的攻擊を蒙つてゐるオランダでは九日又復割引步合を三步半より四步半へ矢繼早に一步方の大巾引上げを發表し必死の防戰に努めてゐるが再度の引上げにつき日銀當局は左の如く見てゐる

ベルガ貨の平價切下げ斷行以來元々密接の關係あるオランダが金の流出に惱まされた結果再三中央銀行の公定割引步合引上げを行つてゐることは之に依つて金の國外流出を喰止める事を得、金本位擁護が可能なりと信ずるが爲であらう、何となれば近々に金本位を拋棄する積りならば何も度々利上げを行ふにも當らないからだ、だが極端に神經過敏になつてゐるオランダ財界の現狀から見て果してこの金利政策に依り金準備の用意に成功するか否かは頗る疑問だ

京濱、北辰線ダイヤ改正

【ハルビン國通】ハルビン鐵路局では京濱線の旅客增加並に北辰線方面の發展に鑑みて十日より左の如くダイヤの改正を行つた

△京濱線

第二列車　ハルビン發午前九時廿五分、新京着午後三時

第四列車　午後一時二十分新京着午後七時廿五分

第十列車　ハルビン發午後十時、新京着午前六時廿五分

第一列車　新京發午前九時廿分、ハルビン着午後二時五十二分

第三列車　新京發午後二時四十分、ハルビン着午後九時

第九列車　新京發午後十一時、ハルビン着午後六時三十分

第三、第四列車は從前より約三時間のスピードアップが計られ、第九、第十列車は昨年九月以來廢止されてゐた夜間列車が復活した

北辰線は從來辰淸打切りであつたのを黑河まで直通した

第四十五列車　北鐵鎭發午前六時廿五分、黑河着午後七時五十八分

第四十六列車　黑河發午前七時廿分、北安鎭着午後九時七分

偶語

きのふ中學、商業の兩校で本年度新入生の入學式があり、記者も父兄として參列の光榮に浴した一人だ▼矢澤中學校長から敎育方針といつたものを委しく拜聽して、今更の如く京中の高遠な理想を頼もしく思ふとゝもに、また父兄としての重大な責務を痛感した▼その方針としては一に興隆日本の先驅者をつくるにあり、これがためには要するに智育體育を通じての訓育に最も重きを置きたいとのお話だつたと記憶する▼誠に結構なことで中學の目的からいつても蓋しそうなければならないと思はれるが、殊に幾つかの學校精神のうちでも「明朗快活」といふことが最も强調されたやうである▼「明朗といふ言葉は浮つ調子といふことを意味するものでないこともちろんで、正しく生きるといふことであり、國際的なわが新京には最もふさはしい校訓ともいひたい▼が吾々の希望するところを率直にいはしむれば明朗快活結構であるが一方特に質實剛健なる氣風を養ふことが、殊に贅澤に慣れた在滿同胞の子弟に取つて最も必要なものでないかと思ふ▼この點についても矢澤先生からいろ〳〵お話があつたやうであるが、冀くば質實にしてしかも明朗な人間こそ吾々は心から要望する

人事往來

▲大野六一郎氏(關東軍司令部顧問)十日午後着任

▲河本大作氏(滿鐵理事)同歸京

▲染谷保藏氏(本社代表、盛京時報社長)十日午後來京ヤマトホテルへ

▲中西敏憲氏(滿鐵地方部長)歸京中のところ十日午後八時新京驛着任

社說

不安なる歐洲 安全組織に横たはる矛盾

一九〇二年以來、ヨーロッパ政治機構の根幹をなし來つたものはヴェルサイユ體制である政局の不安、國際間の抗爭その何れも媾和條約に原因を持つてゐた。フランス及び小協商等、大戰後の政治的現狀を維持することを有利とする國家の一群は緊密なるブロックを結成してドイツその他の戰敗國の一國に對抗してゐるのだが、條約の根底に横はる不合理―獨立國として忍ぶべからざる政治的不平等待遇を押付け、經濟的獨立を許さない條件の强要―これは絶えざる不安の原因をなして居り、軍備平等權の問題ともなり、オーストリア擾亂の根源ともなつてゐる。かくて安全保障とは、平等なる國家に均等なる保障を與へんとするのではなく、或る特權を持つ國家の安全組織に外ならぬのである言ひ換ふれば、安全保障の歴史は對獨不安の歴史である、ドイツ復讐の脅威に對する保障工作である。一九三四年、マグドナルド、エリオ兩氏がゼネヴァに於いて作つた平和議定書はその代表的なものであつたと言ひ得る。所が英國保守黨が内閣に立つやこれを拒否し、直接關係を有する國家を結合せしめる方針に進んだ。かくて生れたのがロカルノ條約である。ドイツは聯盟に加入し、ラインの非武裝地帶の規定遵守とともに、西部國境の現狀に關してはその不可侵を承認し、いかなる紛爭も戰爭に訴へず平和的處理の方法に依るべきことを誓つたしかし同條約には、東歐、ドイツの兩部國境に關して領土的現狀不可侵の規定がない、東歐、中歐の不安は殘されたのである。ドイツは聯盟加入に依り、國際社會に平等の地歩を占めヴェルサイユ條約の不平等なる地位より脱却する手段に利用せんことを期した一九三三年一月ヒットラー内閣出現するや軍備平等權の具體的實現に對する要求はいよいよ熾烈となつた。再軍備に對する軍備監督制度の問題について獨佛主張の懸隔は遂にドイツをして一九三三年十月聯盟脱退を實行せしめた。

◇

フランスが求むる安全保障組織の達成は、ドイツの聯盟脱退に依つて頓挫逆轉せざるを得なかつた。獨墺を結ばんとする汎ドイツ民族主義の行進は、オーストリアのドルフス首相の生命を奪ふまでに政治的爭動進展し、中歐の不安を醸成したのであつた。ナチスの猛進はイタリーを恐怖せしめた。かくてロシアの聯盟加入となり、佛伊協定の成立となつた。フランスはここに於いて東歐ロカルノを提唱する更にまた防空相互條約を提案する。だがヨーロッパの安全組織か、フランスを中心とする戰勝國及び現狀維持を有利とする諸國の利益のためのものである間は、敵視されてゐる國家の全幅的協力を求むることは無理である。ヨーロッパ不安の原因は有力なる大國が現狀に不滿を有する所に存する。ドイツに平等を與へ、滿足を與ふれば、それによつて更に脅威を感ずる國が多くあるといふ矛盾に政治的休戰が横たはつてゐる。安全を得んとして不安を増大せしめるといふヂレンマに到達せざるを得ないのが現狀である。

九年度末國債總額 九十億圓を超ゆ 愈々百億突破? 經濟非常時目睫に迫る

【東京國通】大藏省發表に依れば昭和十年三月末即ち昭和九年度末の國債總額は(單位千圓)

內國債 七、六八七、五一〇
外國債 一、四〇二、九四二

合して九十億九千四十五萬二千餘圓で殊に九十億臺を突破するに至つたが之を昭和八年度末の國債總額たる八十一億三千九百三萬八千餘圓に比すれば實に九億五千百三十一萬餘圓の増加となつた、更に十年度中發行せらるべき約十億圓の國債を考慮する時は明年末の國債總額は恐らく百億圓を突破すべく我が財政に對する影響等注目を惹くところとなつた

ソ聯物資買付員等 赴日の途に

北鐵讓渡協定第九條の規定に基き代償一億四千萬圓の三分の二に相當する價額の物資買付の任に當るため左記六名のソ聯外國貿易人民委員部代表其他專門技術家五名は四月一日モスクワ出發赴日の途に上つた

工業品輸入部總務(政府代表)フヨードル、ゲオルギーエウイチ、キセリヨフ
機械輸入部副總務イワン、ニキーチ、マトウエーエフ
外國貿易人民委員部技師ゲオルギー、イワノウイ、アルテ
紡績輸入部長、ニコライ、イワノウイチ、ヘオドロフ
金屬輸入部 長ピョートル、アレクサンドロウイチ、ウイクトロフ
工業品輸入部長エフゲニー、ダウイドウイチ、ガークン

滿洲國辭令

陸叙薦任三等 税關理事官 龍田芳輔
同 税關事務官 谷村武
同 内田孝
陸叙薦任四等(各通) 税關事務官 川畑友吉
陸叙薦任五等 税關鑑査官 中尾董
同 米良軍德
同 白井久保
同 矢作剛一
同 岩永清
陸叙薦任四等(各通) 税關鑑査官 二階英夫
同 幸山英義
同 岡田三九生
同 白井柳次
同 伊達弘
同 明地鐵藏
陸叙薦任五等(各通) 税關監視官 加藤達次郎
陸叙薦任四等 税關監視官 高増周作
陸叙薦任五等 吉黑權運署副署長 熙清
叙薦任一等 吉黑權運署理事官 高谷大二郎
陸叙薦任三等 吉黑權運署事務官 王式
同 趙鐘祺
同 棧敷七藏
陸叙薦任五等(各通) 專賣公署理事官 高野貞治
陸叙薦任一等 專賣公署理事官 李有
税務監督署副署長 阪田純雄
陸叙薦任二等 税務監督署副署長 猪野々正治
陸叙薦任四等 税務監督署理事官 包用宏
陸叙薦任三等 税務監督署事務官 朝岡三郎
同 河野正明
同 池田桑作
同 劉熙鼎
同 朱鳳康
同 徐枕茂
陸叙薦任五等(各通) 税捐局理税官 小野
税關理事官 澤田正直
陸叙薦任五等(各通) 專賣公署理事官 謝華輝
陸叙薦任一等 專賣公署理事官 天野作藏
陸叙薦任二等(各通) 專賣公署理事官 武波善治
同 古木隆藏
陸叙薦任三等(各通)
專賣公署事務官 李樹壁
同 大森榮助
同 松井盛隆
同 伊藤喜代藏
同 酒井確爾
同 井上和記
同 近森監介
同 松浦棟夫
專賣公署技佐
陸叙薦任五等(各通) 鹽務署理事官 韓國慶
陸叙薦任四等(各通) 鹽務署事務官 白國慶
鹽務署事務官 梁俊佩
陸叙薦任五等(各通) 馬政局馬政官 橋口嘉三
同 岡正
陸叙薦任四等 國立賽馬場事務官 高野壽之助
陸叙薦任五等 國立賽馬場技佐 趙允捷
陸叙薦任六等 實業部理事官 髙木佐吉
同 實業部事務官 美濃部洋次
陸叙薦任二等(各通) 實業部技佐 萩尾全一
同 井上義人
陸叙薦任五等(各通) 權度局技正 孫乃英
陸叙薦任四等 中央觀象臺技佐 髙橋文夫
陸叙薦任四等 中央觀象臺技佐 土佐林忠夫
陸叙薦任五等 交通部理事官 松岡三雄
陸叙薦任三等 交通部事務官 北折澄太郎
陸叙薦任四等 司法部理事官 前野茂
陸叙薦任一等 司法部理事官 菅原達郎
陸叙薦任二等
司法部事務官 査厚
陸叙薦任五等 司法部事務官 周家璧
檢察官 宇都宮綱久
陸叙薦任六等(各通) 文教部編審官 細井優
陸叙薦任四等 文教部編審官 定雲
文教部編審官 劉爽
陸叙薦任五等(各通) 文教部秘書官 葉誠
陸叙薦任四等
文教部事務官 黄謙
同 劉元任
同 齋藤正
陸叙薦任四等(各通) 高等師範學校教授 河瀨松三
陸叙薦任四等 蒙政部理事官 高超元
陸叙薦任三等 蒙政部技正 川口淸次郎
陸叙薦任二等 倉重四郎

讀者の聲

【中略は◀すらとは▶氏名所番地付明記の事】

偶語氏に

大憤慨生

拜啓 四月七日朝刊の偶語氏に呈す

新京附屬地の水道料金値上に就て、「市民の福利など思ひもよらぬ」と市民を、庇護し下さるは、御職業柄、洵に感謝いたします、尚、此上大いに論じて戴きたいのは、家賃の事であります、當地の家主は、余りに横暴ではないかと思ひます、衣食住は、人生缺くべからざるもので、況して住を求めねばならぬ事は、喋々を要せぬ處で、家屋の、持主に就ては、致方なく、誰を恨むやうも、ありませぬがそれに附け上つて、家賃及間貸賃をむさぼるのを御承知でせう、何に比較して、斯く高いのか、その原因は、那邊にあるやです、其でも皆承知して我勝ちに、借主があるではないかと、言ふかも知れませぬが、そんなことは、理由になりませぬ、抑々此家賃を、一年半永きも二年半以内にて、浮びさすとは余りに、弱きも虐めも、甚だしいと、言はねばなりませぬ、社會問題の最大なるものでは、ないでせうか、なぜ其筋に於ても、又社會の、木鐸、指導、監視者たる、偶語氏の如きに、於ても、鐵槌を加へざるかを、怪むのであります、水道料の三割の値上げを云々するより、先きに家賃の三割方値下げを市民の福利のため、挫强援弱の大義を唱導して戴きたいのであります

日本の新政策を展望す(上)

パリ「ル、タン」紙社説(一九三四年十二月三日)

(まへがき)近時歐米の論調を見ると、日本並びに滿洲國に對する彼らの認識が漸くその正しい見方のうへに立ち至りつゝあることが知られる。これは、彼らが好むと好まざるとに拘はらず、日本の儼然たる東亞における行動が着實に各方面に成功しつゝあるその事實を反映するものと言ふべきであらう。ここに譯載する一文もパリ第一流の新聞の社説としてよくその資格を持つものと言ひ得やう。一讀を望む次第である。―(山口生)

最近英國勞働黨のボールドウィン氏及び外相サイモン氏は下院において、又佛國外相ラヴエル氏は上院において各の演説をなしたが、ドイツ外交團の各國首都における活動について述べたものが直接歐洲時局と關係があつただけで、悉くが極東の形勢の危險について顧慮したものであつた。蓋し日本が今やまさにこれまでの極東の局面を變革せしめ、これまで白人が極東方面に有してゐた所の傳統勢力を顚覆せしめんとしてゐるからである、日本代表が倫敦における海軍初歩會議において宣明した所の一切の新政策はその目的はただに一海軍問題のみに限定されたものではなかつた、蓋し日本人の目的とする所はその既定方針に基いて一方には新滿洲國の基礎をますます鞏固たらしめ、他方には自國の勢力をして今後黃色人世界に擁ひこめやうとしてゐるのである。

◇

日本の廣田外相は國會に提出した説明書において、日本が外交上に收獲した利益を述べ最近數ケ月内にすでに解決した政治、經濟、財政、社會の困難な問題は政府の欣快とする所であると述べてゐる、現在極東の危急な形勢がどの程度に達してゐるかについては吾人は未だ斷定し得ないのであるが、一切の事情の示す所を見れば、日露の双方が隨時に戰爭爆發の危險を有してゐることは疑ひない、日本とてもこれをよく知つて居り、その工業製產品、人口過剩の解決を欲するが故に極力方法を講じてあらゆる軍事的衝突を避けやうとしてゐる、それにはその巧みな平和外交政策を運用して以つて環境に適合せんとしてゐるのである。それには武力による冒險を以つて急ぐことをせずゆつくりと構へてかかつてゐる。もとより日本は決して武力を放棄するものではない。若し其國内にその過剩人口を收容し得なくなれば、日本はつひにいかに忍ばんとしても忍び得ず必ずや戰爭の途に走るであらう

◇

上述せる日本の政策は漸次その效を收めつゝある。その最大なるは滿洲國の偉大なる事業のためには、迅雷の手段を用ひて國際聯盟を退出し昔からの歩武を放棄した。だが聯盟より脱退して後は盛んにその多邊式外交政策を用ひて各國との周旋に努めてゐる。だからその國際的地位は毫も昔日より減じてゐない。その扶助によつて成立した滿洲國は聯盟の難責各國の否認を懼れない。

◇

この故に滿洲國は今に至つて屹立、揺ぎがない、しかも國勢は日に旺んな有樣である廣田外相と議會における説明において、滿洲國の成立が日本の國策中に首要な地位を占めるものであると言つてゐる更に外相は、新國家が各項の治理機關を設置することにおいて發展迅速なのを非常な快心事であると言つてゐる。滿洲國の帝制が實施されて以來その國礎は泰山磐石の安きに置かれた。之を要するに、滿洲國の建設發展の工作はすでに漸く軌道に乘つてゐるのである。日本と中國、歐米各國との關係も亦漸次友好に赴いてゐる。これはみな廣田外相の聲明によつて知ることが出來る、外相は言つてゐる、列强は日本の東亞に處せる地位を旣に甚だ諒解したと。だから吾人は日本が極東方面に於いて自らその生命を維持する適當な方策を有するものであることを知らねばならぬ

圖們國境密輸數並に密輸品

【圖們國通】三月中圖們國境警察隊の手によつて檢擧摘發された密輸數は一三六件、之が見積價格は二千九百卅三圓九十錢で密輸品としては朝鮮味噌の醸造期に入りたる爲か鹽の密輸斷然多く三、〇六八

第一回分 北鐵買收公債 申込五倍に達す

滿洲國北鐵買收公債一億八千萬圓中の第一回分割募集分三千萬圓は四月八日から十日まで賣出されるが、比較的好利廻りであり優遇方法が講ぜられてゐることにより、銀行團の親引けが二千萬圓に上りなほ買氣盛んで、日興、山一、野村、小池、共同、藤本の各下受證券業者らの申込は豫定額の五倍に達した

商況欄 (四月八日後場)

金銀市況

●上海標金 前引 六六六、一〇

爲替相場

▲上海爲替
第一回 買賣 一三三、五〇〇 / 一三四、〇〇〇
第二回 買賣 水曜日
第三回 買賣 午後休會

▲倫敦向
第一回 買賣 一志六片 一六分三 / 一六分四三
第二回 午後
第三回 休會

▲紐育向
第一回 買賣 三七弗 一六分三 / 八分七
第二回 買賣 午後
第三回 買賣 休會

▲大連爲替
▲上海向 一〇〇八〇〇 一〇〇六〇〇
一〇〇七〇〇
一〇〇六五〇
一〇〇五〇〇
▲臺灣向 一〇〇四五〇
一〇〇四〇〇

▲上海爲替
▲日本向
第一回 買賣 一三三五〇〇 / 一三四〇〇〇
第二回 買賣 水曜日
第三回 買賣 午後休會

▲倫敦向

●大連金鈔票
後場 寄 休 / 歩 會
現物 寄付 一、三五、五〇 / 引 一、三三七、五〇 / 出來高 一萬元
四月十三日限 寄付 一、三三六、〇〇 / 歩 二六、五〇
四月廿八日限 出來不申

●大連鈔票銀大洋
現物 一、三三四、〇〇 一、三三四、五〇 / 出來高 四四萬
引 一、三三七、五〇

●奉天國幣對金票
現物 一、〇九六、〇〇 一、〇九六、〇〇
▲四月十三日限 寄付 九二四、〇〇 / 引 九二四、五〇 / 出來高 一六萬

●國幣對鈔票
十三日限 寄 八三、七〇 / 引 八三、七〇 / 出來高 五千 / 二十八日限 八三、六〇 八三、六〇 二万五千圓

●鈔票對金票 十三日限 / 二十八日限

株式相場

▲阪神日米爲替 第一回 休會
▲阪神日英爲替 第一回 不變

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	二〇、一〇	—
豆新	一四、四〇	—
錢鈔	三、五〇	
東新	一四六、四〇	一四六、三〇
日邃	九六、〇	九六、一〇
鐘新	一三三、四〇	
滿鐵	六五、〇〇	
二新	七〇、四〇	

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	一四六、八〇	一四六、八〇
東新	一三三、八〇	—
鐘新	九六、六〇	九六、五〇
日邃	八九、七〇	八九、五〇
大新	二〇、三〇	—
五品	一四、五〇	—
豆新	一五、〇	—
電甲	一三、七〇	
同乙	六四、五〇	六四、五〇
滿鐵	二一、六〇	二七、六〇
二新	九、七〇	—
東拓	三一、八〇	
東亞	八三、六〇	八三、五〇
日晉	三五、五〇	—
滿興	—	—
滿毛	—	—
優先	一七、四〇	—

新京取引所市況 (四月十日後場)

●大豆 現物(一石値段) 定期(混合百斤値段)

限月	寄	引	出來高
現物	—	—	
四月限	—	—	
五月限	—	—	
六月限	四、五三五	四、五二〇	車
七月限	四、六〇	四、五七	五五
八月限	四、六二	四、六三	一車

●高粱

限月	寄	引
現物	—	休
四月限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—

●鈔票對金票 十三日限 — / 二十八日限 —

特產市況

●大連大豆

限月	寄	引
袋込	六、〇二	四、九八
四月限	五、〇一	五、〇〇
五月限	五、〇九	五、〇五
六月限	五、一七	五、一四
七月限	五、一三	五、一六
八月限	五、一七	五、一三

●同 豆粕

限月	寄	引
現物	—	—
四月限	一、四九〇	一、四九〇
五月限	一、五〇〇	一、五〇〇
六月限	一、五一〇	一、五一〇

●同 豆油

限月	寄	引
現物	一五、〇〇	一五、〇〇
四月限	一五、〇〇	一五、〇五
五月限	一五、一五	一五、一五
六月限	一五、三〇	一五、三〇
七月限	一五、三〇	一五、三〇

●同 高粱

限月	寄	引
現物	—	—
四月限	—	—
五月限	四、一九	四、二〇
六月限	四、二二	四、二二
七月限	四、二二	四、二二
八月限	四、二二	四、二二

▲哈爾濱大豆

限月	寄	引
四月限	一、一六〇〇	一、一七〇〇
五月限	一、一九五〇	一、一九五七
六月限	一、二一七	一、二一七五

●同 小麥

限月	寄	引
四月限	一、五二五	一、五二五〇
五月限	一、五三〇〇	一、五三七五
六月限	一、五六〇〇	一、五五二五

手形交換 (十日)

金票 一九三枚 一九、七〇七、六四〇
鈔票 二枚 三四、五三四、三五
國幣 枚 六九六、六六六、三三

南滿

滿洲國蒙政部の牧羊事業の振興計畫
内蒙牧羊合作社を設立して 察哈爾緬羊を購入

【奉天國通】滿洲國蒙政部では省内牧羊事業の振興を圖る爲内蒙牧羊合作社設立を計畫豫算二萬八千圓を以て緬羊三千頭を察哈爾省より購入、春暖萠芽を待つて興安省中緬羊頭數最少なる札魯特並に爺牛特の兩旗に配布することになつた、尚察哈爾省方面は現在支那商人の莫大なる中間搾取を經て張家口方面より多量の日本商品を輸入しつゝあるが將來は日本商品の滿洲國經由輸入を行ひ其の交換條件として滿洲國は察哈爾の緬羊其他を購入する滿察交易を計畫中である

營口港積出し運賃値下大斷行 三井の大英斷

【營口國通】奥地物産の營口港吸收策に就ては各方面に必死の努力を拂ひつゝある折柄當地三井物産支店にても永年の沈默を破つて愈々積極的北滿物資の營口港積出政策に乘出す事となつた、即ち從來不定期寄港船舶以外に更に阪神、横濱、營口間に定期航路を開始し、既に先般來より優秀船三隻を配船毎船滿腹の狀態にあるが、又々運賃の大値下斷行を發表センセイションを起してゐる、それによると奉天以北の物資を營口港より積出さんとするもので、從來阪神向豆粕一ピクル十九錢を十五錢に、同横濱、名古屋の廿一錢を十六錢に、袋物大阪神向の廿錢を十七錢に、横濱名古屋向の廿二錢を十八錢の二割程度の運賃を値下斷行するものである、之がため從來奉天以北の貨物は滿鐵大連港積出を有利としてゐた北滿の物資は今回の三井物産の大英斷によつて總て營口港を經由して輸出さるゝ事となつたので、滿鐵大連港にとつては相當影響を來す譯で之が結果滿鐵の運賃政策も改正を斷行すべく豫儀なくされるものと一般に觀測されてゐる

「滿洲」大豆の脅威
アメリカ大豆が歐洲市場に進出

【奉天國通】世界大豆市場に於る滿洲大豆は多年獨自の地盤を擁して歐洲市場に於る油脂原料界に君臨してゐるが、近年アメリカの大豆産額が逐年增加の傾向にあり既に數年前よりロンドン市場に於て「アメリカン、ソーヤ、ビーン」の銘柄にて上場せられ滿洲大豆に漸次脅威を與へるに至つたことは輕視を許さぬものがある、米國大豆の生産狀況の材料を綜合すると左の如くである

△米國大豆收穫高（米農務省發表）

年	收穫高
一九二五年	一二四、〇〇〇噸
一九三一年	四〇二、〇〇〇
一九三二年	三五二、〇〇〇
一九三三年	三三三、〇〇〇
一九三四年	四六六、〇〇〇

即ち昨年度は急激な增加を示し十年に比すれば三倍以上の數量に達して居り、大豆植付面積は（單位）（エーカー）

年	面積
一九三三年	三、五三〇、〇〇〇
一九三四年	四、七九三、〇〇〇

となり滿洲大豆植付面積の約半分に達してゐることは注目に値するものがある

遼河資源調査 運河實現か？

【營口國通】遼河流域を中心とした河川調査及び流域地方の資源に於ては滿洲國成立以來數度部分的調査をしたるのみで未だ全般的に亘つて完全なる調査なかりしが、今回軍部、滿鐵、營口航政局、海邊警察隊の四者合體となり遼河の上流三江口附近より營口河口に至る約三百五十里の大遼河一帶に亘り大調査隊を組織して大々的資源調査、河川調査をなす事となり大體五月中旬營口に集合、調査を開始する豫定である、完成の曉を夢物語となつてゐた運河開鑿の實現も遠からずと見られてゐる

范家屯に國婦結成

【范家屯支局發】新任川本署長は鋭意地方の發展策に努力する一方市民をして非常時を再認識せしむ可く國防婦人會の結成を提唱し全范家並屯に范家屯署管内の婦人は擧つて入會し倍々銃後國民の一決心を示さんとなしつゝあり玉利分會長は創立の事務に忙殺されてゐる

安東でも石油專賣法實施

【安東國通】滿洲國石油專賣法は幾多の波瀾を乘切つて愈々十日から實施されることになつた

安東專賣署内には石油股が設けられ元御賣人たる安東煤油專賣總批發股份有限公司は專賣所に並んで事務所を構へた同專賣署管下の指定御賣人は三十名で其國籍別内譯は三井物産、德昌公司、米油商會の三日本商、米系のスタンダード及びテキサスと英系のアジア會社支店を除き廿四人は滿支人である

尚地理的關係から通化、桓仁、莊河、岫巖の四縣は共同販賣區となつてゐる

棉花煙草の栽培を奬勵

【安東國通】安東省公署實業廳では省下産業振興策として明年度より棉花、煙草の栽培を奬勵する事となり既報の本年は約一萬五千圓を計上して棉花を寛、安東、鳳凰城の三縣に、煙草を岫巖、寛甸の二縣に夫々試作する事となつたが成績は頗る期待されてゐる

北滿

匪首呉邦傑逮捕さる

【ハルビン國通】滿洲事變前より楡樹縣附近に於て紅槍會員八百を部下に暴威を振つてゐた紅槍會匪呉邦傑はその後日滿軍の急追を受けて部下は四散し、呉は延壽、珠河方面を轉々として逃げ廻つてゐたが、去る一日第四軍管區部隊によつて周家店地方で逮捕された

舊北鐵從業員第二回引上げ

【ハルビン國通】舊北鐵ソ聯從業員第二回引上は來る十四日行はれるが、第二回目引上從業員は幹部級約百名でハルビン鐵路局では目下列車編成の準備中である

東滿

吉林民會豫算議會
歳出入七萬五千余圓 昨年度倍額の大膨脹

【吉林支局發】民會豫算會議の第二日たる二十九日には午後一時より議事に入りブッ通しに九時間に亘り會議を續け十時全案を議了して閉會を告げた、歳出入一方の總額は七萬五千三百四十五圓即ち昨年度の約倍額と云ふ大膨脹となり結局居留民負擔の增加となつたのであるが、今其歳出の各項と費額とを擧げて見ると

項目	費額
教育費	三七、〇五〇圓
衛生費	六、一五〇圓
神社費	三、六〇〇圓
事務費	一二、四二二圓
會議費	一三〇圓
建物費	四〇〇圓
積立金	六、七七五圓
墓地火葬場費	四四〇圓
救助費	一〇〇圓
補助費	三、六六〇圓
雜支出	二、二〇〇圓
豫備費	九一八圓
臨時費	一、五〇〇圓
合計	七五、三四五圓

となつてゐる、猶此外に當日議定した要件は左の通りである

一、新に理事を設け現任石橋書記長を之に昇格せしめ、書記を增員し其詮衡を理事者の外辻川、山本の兩委員に一任したこと

一、神社委員の内規を作り辻川、堀川、中島三議員を委員に指名したこと

一、公費賦課徴收規程改正に關する盛議員の提案に就ては辻川、芝元、赤池、盛、本多、青山の六議員を研究委員に擧げたこと

一、毎年民會にて主催せる運動會を体育協會に移管し補助金三百圓以内を支出すること

滿洲農村に於ける「賣青」の制度（下）

或る人の研究では、北滿民衆の貨幣收入は百分の五十は大豆を賣つてこれを得、百分の三十は小麥を賣つてこれを得てゐるといふ、一方には又北滿では糧棧が金貸業方を兼ねて發達してゐる

更に又、投機的意味がこの制度を助長してゐる、農民は必ずしも手許不如意のためではなしに、夏の農産物價格の高い時に賣つて置くのである、かくて舊正月或ひは二月といふまだ雪が地を蔽ふてゐる時に早くも「賣青」が始まるのである

「賣青」は最も多く大豆について行はれる、その次には小麥である、大豆は國際的商品として海外にも賣り易い、普通は六、七月の頃に糧商が店員を派して青苗を買ふのである、これは普通「外 」と稱される先づ第一た「驗青」と稱して青苗の面積と場所を調べる、そして大豆五石の收穫が豫想されればその七割、三石五斗だけの額を融通する價格は通常常時の市價と、昨多の現物價格を標準とする、それも大抵は時價を以てし、豆價が毎石二十元とすれば、青苗は十元から、十二、三元にしか賣れぬこれはこの中に貸附利子と收穫時の價格低落の損失を含んでゐる、なほこの取引には貨物交附の時と場所とを定めて置かねばならぬ、今日では春耕資金の貸付があるため「賣青」は表面上は制壓されてゐる、しかし農民は實際にこれを必要としてゐるので幾分形を變へて依然行はれてゐる

貸金取立てに行き朝鮮人殺さる
農安縣前家店部落高粱畑で

吉林省農安縣第三區警察署管内前家店部落北方五百米の地點高粱畑中に一朝鮮人の他殺屍体あるを八日午後六時頃滿人が發見新京總領事館農安警察署に屆け出で同署より赤木署長以下六名の署員が自動車にて實地檢證の結果被害者は本籍朝鮮平安北道龍州郡古津面塔上洞現住所新京鐵道北濟鄉市農業崔大有（四六）と判明、同人は六日前家店滿人宅に貸金取立に赴く途中殺害せられたものらしく背筋眞中に刀痕と左脇下に彈痕ありこれが致命傷と見られてゐる、尚屍体は現場に假埋葬し目下犯人嚴探中である

吉林体育協會 役員會開催

【吉林支局發】吉林体育協會にては去る八日午後三時より民會樓上に於て役員會を開き野中委員長の後任、新年度各委員の互選及新年度事業計畫としてプール設置問題、グラウンド使用問題等に就て協議した、其結果委員會の後任には副領事町田萬二郎氏を推し其他の委員も之れに次で選出された

圖們内地人民會の選擧委員決定
總選擧は四月下旬

【圖們國通】圖們内地人民會の總辭職は領事分館に於ても遂に之を受理し、松原副領事は改めて居留民會員中より九名の選擧委員を指名し、四月二十日頃を以て民議十名の總選擧を行はしむることとなり選擧委員として左の九名を指名した

山本芳信、長田和義、内田長次郎、皆川通、馬場邦輔、駒林金四郎、川添嘉一、小守貢保、大塚憲一

吉林に金融機關を誘致 居留民會が運動

【吉林支局發】飛躍的發展をなしつゝある吉林の爲めに金融の圓滑を圖るべく吉林居留民會と商工會議所とが步調を一にして鮮銀、東拓、大德不動産三機關の吉林進出方を運動するに決したとは既報の通りであるが、先般豫算會議の大役を終つた居留民會にては早速此運動に取掛かることゝなり、宮本、辻川の兩委員が五日夜赴京、翌五日右三機關を歷訪して具さに實情を具陳する所あり、又此運動の爲めに一肌脱ぐことになつた總領事館からも町田副領事が民會及商議の陳情書を携へて九日赴京し三機關當局と折衝を遂ぐる事となつたが、歸來せる民會兩委員の報告によると三機關とも大体に於て吉林進出の必要性は認め居れるも採算の如何に就て幾分躊躇の色ありとの話なれば、今後引續き本問題の實現を期する爲めには的確なる數字上の根據を調査し之を資料として提供することが最も必要であるとの觀測が行はれてゐる

吉林公會堂 本年中に着工

【吉林支局發】吉林居留民會事務所並に公會堂新築の件は過般の民會議員會にて正式に決定され委員の選出をも見たが、其後敷地も豫定の如く南大路に決したので本年中に着工することゝなつた、建築費豫算は七、八萬圓に上つたので其一部は建築基金にするとしても大部分は借款に依るの外なく、其借款を成るべく少額に止むる爲めに滿鐵と鐵路局とに對して補助金を下附すること▲なつた、尚各委員の手で集めた各地の資料等も可なり集まつてゐるので九日民會會議室に各委員が集まつて諸般の打合せを行つた

圖寧線の魚菜急送列車 近く運轉開始

【圖們國通】北鮮淸津方面の魚菜類が北滿に進出するには圖們を經て圖寧線により寧北（牡丹江）に出ねばならぬがそれが今までの輸送狀態ではどうしても圖們で一日を費し奥地方面の不便甚しいものあるが、現在圖寧線は假營業で小手荷物の取扱も行はないが北鮮方面からの魚菜類に限り之を急送貨物として圖寧線の特別取扱ひを開始することになつた尤も此の實施は圖們驛に於ける從業員の犠牲的奉仕を要する爲め四日午後一時より圖們驛の階上に於て圖們商工會、市場關係者、驛貨物係員等集合して此の魚菜急送實施に關する打合せ會を催した近く劃期的な魚菜急送列車が圖寧線に活躍するであらう

役員會開催 圖們國防婦人會

【圖們國通】四月六日領事館警察署二階講堂に於て圖們國防婦人會の役員會を開催、松原分會長、三城、國澤各副分會長他十五名參集し分會旗製作の件につき一般より受理したる寄附金を之に充當し殘金は分會基金に編入する事を申合せて散會した

圖們市街地の土地貸付好成績

【圖們國通】鐵路總局圖們辦事處の第三次市街地貸付は廿六日を以て締切つた、今回の貸付は主として第二次貸付への契約不履行の地域等を整理し家屋の充塡を企圖するものであるが、申込六十件、その希望地、建物の申込條件等より檢討して希望者數は六十件に過ぎぬがその質に於ては滿點の成績と認められ、大口の思惑的申込も皆無で眞面目な健實味に富み、圖們の建設も漸く過渡期を脫して落付きを見せて來たものとし此の傾向は各方面より喜ばれてゐる

圖們魚菜市場 設立認可

【圖們國通】舊臘廿日より開業せる圖們魚菜市場は圖們内地人民會の代行機關たるもので、株式組織として圖們魚菜株式會社の成立する迄組合組織を以て營業中であつたが三月廿七日附で愈々領事館より株式會社創立の件認可指令に接したので直ちに株式募集に着手することとなつた、資本金十萬圓、四分の一拂込みを以て經營の方針であるが、現在の市場設備等相當經費を要して居るので或ひは半額拂込とし活動するものと見られてゐる

寧安驛取扱貨客數

【圖們國通】圖寧線寧安驛の最近取扱貨客は左の通りである

△旅客

月	乘車	降車
一月	一、七五二	二、四八七
二月	三、三一四	一、二八
三月（中旬迄）	一、五八九	一、六七二

△貨物

月	噸數
一月	四、一八一噸
二月	二、一九七
三月（中旬迄）	二、七〇〇

となり大豆はその約半數、毎月平均一千五十噸の發送である

◎商業登記

家庭

高等科兒童の激增を如何するか
新校舍を設立するより「商業校舍を利用せよ」
＝某有力者の意見＝

市內就學兒童の氾濫により小學校の增設は緊迫せる問題だけに各機關とも眞劍にこれが促進運動を起すに至つたが更に高等科單置校の新設はより以上に切實なる問題とされるに至つた

現在市內四ヶ小學校の中高等小學校の置かれてゐるのは室町小學校だけであるため本年度の如き高等科兒童は入學級に達し同校の設備では今後到底收容の餘地なきのみならず各方面の狀況より推して高等科兒童の增加は小學兒童の增加に正比例すること言を俟たず直接衝に當る學校當局はこの解決に頭を惱してゐるが右問題に關し某有力者は最も容易に行はれるであらう解決方法として次の如き意見を述べてゐる

小學校二校の增設さへ問題とされてゐる時更に高等科單置校の新設は到底不可能のことであろ、さりとてこれを等閑に附すことは許さざる事情にある、此際最も容易に行はれるであらう解決案は現在の商業學校に移轉することである商業學校內に置かれてゐる靑年訓練所は四月一日發布された勅令により內地と同樣靑年學校として開校することになつた、この靑年學校は今までの訓練所と異り滿十四才以上の男女を收容するので本年に於ける新京の當該者は二千二、三百名に上つてゐる新京は當分女子の方は收容せぬが男子のみで一千二三百名あるので現在の假住居では到底間に合はないのである、そこで高等科單置校を商業學校に移し夜間は靑年學校として使用することにすればよいのであるが然らば商業學校はどうするかが問題であるが商業學校としても本年は增築をせねば來年度の生徒は募集出來ないのである、それに現在の同校寄宿舍は西公園に接近してゐるので風紀上面白くないことが多々あり、學校當局者としては一日も早く適當なる場所に移轉を望んでゐる程である、でそういふことを考へると校舍の增築寄宿舍の新築移轉等をなすよりも此際適當なる場所に將來性のあるものを新築した方がよいといふことになる、現在の寄宿舍は滿鐵獨身宿舍として使用することにすればすべてが無駄にならず利用出來るのである、この案を用ふれば高等單置校も靑年學校も、商業學校の問題も一度に解決出來ること丶思ふこれは決して根據のないことではなく滿鐵當局でも意向を有してゐるのであるから市民の運動の如何によつては容易に實現する問題であると思ふ

「建築講座」主婦と住宅（七）
滿洲中央銀行　山崎忠夫

住宅構成と主婦
天勝の魔術にも種がある　廣い住宅から面積の少いより廣い住宅を構成し樣と云ふ魔術には天勝より以上の種がなくてはいけない純性理論かなくてはいけない

（1）考想

日本內地の農民住宅、特に『ズウ／＼地方』の北陸方面には良く爐をもつた大きい茶の間がありますね來客も主人も祖父も孫も、娘も戀人も、猫も杓子も茶をすゝつて澤庵をかじつて雜談します何と言ふ美しい情景ではありませんか心に來客と言ふ意識も氣苦勞もなく平和的た情景こそ大和魂の生れた擧國一致の精神の發生ではありますまいか

北海道に行きますと「アイヌの家」があります、中央に爐があつて橫座、右座、火尻座と言つて爐を中心として來客も一家族同樣に神に祈つたり雜談したりしてゐます

圖はアイヌの家です良く御覽下さい西洋に行つても、特に英國の田舍では櫓炬燵はありませんが、廣間で慰安したり祈禱したり雜談したり踊たりしてゐます

この情景こそ健全な家庭生活の表現ではありますまいか斯くした計畫方法に依る新住宅の構成は果して成立つものでありませうか

北陸方面、北海道、英國と凡て滿洲同樣に寒帶地方のであるその住居原理こそ新住宅樣式への種であり純性原理であり滿洲中央銀行新築社宅一帶の遠藤新先生の考想であつたこと丶思ふ

（2）內部構成

これがその住宅です主婦は良くこの家を硏究してお住ひになつて下さい、坪數は三十坪です以前の住宅は三十五坪でしたそして五坪の經濟になつて一割六分の節約です

部屋數の比較は從來のものは應接八疊大、八疊六疊でした新樣式のものは居間十二疊半大浸室五疊大、十疊八疊の主要室が配置されてゐる卽ち主要部屋比較二十二坪の增加となつてゐます卽ち倍の主要室が間取れた筈です如何です、念力と魔術純性なる理論とその利用値の擴大なることに驚いたこと丶思ふ、斯く見る時如何に從來の平面計畫方針の拙劣であつた事と不經濟以外の何物でもなかつたことがお分りになつた事と思ひます

1 玄關　2 居室　3 帖　4 八帖　5 六帖　6 台所　7 女中室　8 浴室　9 便所

朗らか小父さん

僕達ハ隣エ越シテ來タンダヨ僕ハ凸助ダ
カクレン坊シテ遊ビタインダロー？
僕ハ凸郎ダヨ、お前鬼ニオナリヨ
直グ來ルカラ、帰ッチャ可ケナイヨ
アァイイヨ
待ッテルヨ
ペンキ屋
アノ二子ノ兄弟ハイツ迄モ私ヲ鬼ニシトキタインダ
ペンキ屋
サア之レデ見別ケガ付クワ

©1925 by King Features Syndicate Inc.

新京高女（六）
內地旅行便り

京都から —三月三十一日—

午前七時五十分に大阪驛を出發して京都に午前八時四十八分に着きました、すぐに白く大きな遊覽バスに乘つて市內見學の豫定コースを進みました

西本願寺—バスはまづ西本願寺の前を一めぐりいました、西本願寺は眞宗本願寺派の總本山で本派本願寺又は西六條とも云ひ、俗に「お西さん」と呼んでゐるさうです、御門のすぐ中に大きな銀杏の木がございましたが、これは本堂が火災にかゝつた時、この銀杏の木が水を噴いた爲、この本堂だけ燒けなかつたと云ふことで有名ださうでした

東本願寺—眞宗大谷派の總本山で俗に「お東さん」と呼ばれ、本堂は神々しく廣々としてをり、疊が九十九疊しかれてゐるとのことでした

桃山御陵—眞白な長い階段を幾つも登り、すが／＼しい中を靜かに明治天皇の御陵と、昭憲皇太后の御陵を參拜しました、御陵は上下三段よりなる上圓下方の御塚で、其の上はさざれ石で葺き奉ると聞きました

乃木神社—桃山御陵を少しはなれて祀つてありました乃木大將と靜子夫人の御墓を參拜し、境內の水師營會見で有名なナツメの分植や、第三軍師令部模型等、日露役當時の面影や乃木大將の生ひ立ちし家も感慨深く拜見しました

三十三間堂—堂の長さが六十六間あり、二間每に丸い柱が立ち、間數を三十三に分つてあるので、三十三間堂と言ふとのことでした、そして三十三と云ふ數はまた觀世音菩薩が三十三の化身を現じて人類を救濟せんとする本願になぞらへたさうです御堂の中には千手觀音を本尊として左右に一千体の十一面觀音像を安置してありました

清水寺—名物の淸水燒を商つて居る兩側の店を眺めながら淸水坂を登ると禮門があり門の右手に並んで西門、其の東に三重塔、經堂、日村堂、朝倉堂があり、廻廊があつて、中門を過ぎますと廻廊があつて、そこが本堂になつてをりました、堂に續いて南に掛け出した舞舍が有名な「淸水の舞台」で思ひ切つた事をすることを「淸水の舞台から飛んだ氣持で」と言ひますが、この下は岩がごつ／＼としてをり一面の楓と櫻の樹を以つてうづめられすばらしい眺めでした、昔は人がこの舞台から傘をさして飛び下りたさうです

賀茂川—東本願寺より桃山御陵に向ふ間に淸らかな流れに沿ひましたが、これが有名な賀茂川とのことでした、又この流の中でこれも名高い友仙染が、赤や靑に美しく染られてゐました、牛若丸と辨慶で名高い五條の橋も懸つてありました

圓山公園—東三華山の麓に位し面積二萬九千坪で京都市の代表的公園と言ふことでした園の中には名高い名木の「枝垂櫻」があり、陽春の四月頃には「祇園の夜櫻」とうわさされる美事さとのことでした其の他、柳、櫻、楓などそれ／＼の美しい枝ぶりを爲し靑雲の如き丘の起伏、池のしぶい趣すべて風流のきはみを爲してをりました

知恩院—淨土宗の總本山で開祖は圓光大師法然上人が今より七百餘年前に創立されたと言ふことでした、廻廊は左甚五郞の苦心の作「鶯張り」で靜かに步くとキクッ／＼と言ふ樣な澄み切つた高い音を出しました、本堂は今お坊樣方が修業なさつて居られるとのことで閉めきつた堂の中からはポク／＼と木魚の音のみ聞えました

南禪寺—臨濟宗南禪寺派の大本山で燈籠が一つしかございませんでしたが、これは昔佐久間玄蕃が最後の合戰に出掛ける時に、必勝を祈つて燈籠を一つ上げ、もし戰に勝つたなら後一つを供へるとちかつたのでしたが敗戰の爲に一つしか供へられなかつたとのことで、これを形見の燈籠と言ふとのことでした

平安神宮—官幣大社で桓武天皇をお祭つりしてありました

銀閣寺—足利八代將軍義政が享樂のほしいまゝに建てたもので風流と善美の極をつくしてをりました

嵐山—京都西郊第一の名勝とのことで、みどりの山も氷の樣な淸らかな流れも、しだれ柳も、まだ咲かぬ櫻の樹々のうねりも美しくすばらしいものでした

G、Oスタジオ—嵐山の麓へりにをとづれましたら、今日はお休みで俳優は誰方もゐられないとのことで、皆は期待をうら切られて悲鳴を上げました、それからスタジオの中と造つたばかりの漫畫の映畫を見せていただきました

朝からの見學でぐた／＼につかれた体をやつと運んで「おいでやす」の聲に迎へられて松屋旅館に落つきました「御飯おくれやす」と言ふておくれやす」といふ朗らかな女中さんに何度も笑はされながらたのしい食事をすませました、明日は奈良、美しい舞妓はんと赤いだらりの帶を夢にと床につきました（小倉久枝）

家庭醫學
胃病の診斷法も療法も進步しました
胃酸過多症と胃下垂、胃アトニーの新らしい病理と治療法

醫學の進步につれて、近來胃の病氣に就ても、胃液や便の檢査、X光線檢査ばかりでなく、手術で腹を開いて胃を直接檢査したり、胃の一部を切取つて顯微鏡で檢査するとか、胃の中に胃鏡を入れ

電氣をつけて胃內をのぞいて見るとか、胃內面の寫眞をとるといふ風に、

硏究が微に入り細を穿つ樣になつてから、新に發見された事が多くあり、從つて治療法も異常な進步を示して來ました。

胃酸過多症と云へば一般によく知られて、胸やけやすつぱいゲツプなどがあると、すぐそれだと決めてしまふ人がありますが、素人は勿論、醫師が胃酸過多症として扱つてゐる患者が、實は胃潰瘍や十二指腸潰瘍の事も珍しくなく又胃液の檢査をして見ると本當に胃酸の過多もあるが、中には却つて少なすぎる者（減酸症）さへ隨分あります。

胃酸過多の爲に症狀が現れるのは、その多過ぎる胃酸の爲に刺戟されて、胃壁が荒されるからなので、第二次的には胃壁に潰瘍が出來る、といふよりは、胃酸過多症を自覺する樣な人には、既に胃潰瘍の出來てゐる場合が多いといふ事が實驗されてをります。

また胃酸の少な過ぎる場合に、症狀が現れるのは、

胃癌が潛伏してゐるとか胃カタルがあるとかして、胃粘膜が障害された場合

つまり、畑が荒れて不毛となり、酸を作る事が出來なくなつた時、そんな症狀を起すのです。

次に胃下垂は、從來仲々多い病氣と見られてゐたが、X光線で檢査して見ると、胃が小骨盤の中まで下垂してゐ乍ら、何の苦痛も感じない人が屢々あります。

つまり胃下垂必ずしも病氣ではない事が分つた譯ですが、之に胃弱が加はつて、胃筋の緊張力が弱くなると、症狀を起して來るので、普通に胃下垂と考へられてゐるものも、その症狀の本態は胃弱の爲である事が多いのです。

さういふ事が分つてみれば、胃酸過多症にしろ、胃下垂にしろ、在來の樣な對症療法だけでは、病氣が仲々よくならなかつたといふ理由がよく分りませう。今、胸やけがするから、胃酸を中和すればよいと思つて、アルカリ劑を用ひたとします。然し實際は、酸の過少な場合もあるから、そんな時には反對に症狀を惡化させます。

又假に眞の胃酸過多の時、重曹が猶豫なく用ひられたとします。成程一時は樂になりますから、よく効くと思つて連用してゐると如何でせう。重曹は酸を中和しても分泌を正常に還す作用には缺けてゐるから、所謂「燒石に水」で結果は却つて胃を刺戟し、病氣を重くする樣な事になるのです。

胃下垂にしても、在來の腹帶だとか、食物を小量づゝ採り、

消化劑で消化作用を助ける等の療法では、所謂保護作用の外に效果を望めず

殊に、胃アトニーなるくせ者があつて、症狀を增惡してゐる事が多いとすれば、自からそれに對する

農地がなければならぬ道理です。かういふ意味から近來、胃酸過多症や胃下垂、また胃潰瘍、胃アトニー等の治療に推奬されるのは若素（わかもと）ですが、之には食慾を進め、消化をよくし或は、胃腸の組織細胞に活力を與へて機能を復活させる酵素やビタミン、ホルモン等の諸成分が網羅されて居ります。

だから若素（わかもと）をのむと

胃の消化作用が補助されると同時に、分泌機能が正常に……果、胃酸過多症の人は……憩まり、胃潰瘍では潰……が新生されて恢復に……垂、胃弱では胃筋に……與されて、弛緩や下垂……ふといふ風に、一つ藥……によく效果があるので……

病氣の治り際

百里の道を旅する者は九十里を以て半とすべしとは古人の訓ですが、病氣の道も同一で、病氣の治り際が一番注意を要する大切な時期です。

結核や胃腸病が、いざと云ふ所でぶり返し、又も病床に呻吟する樣になるのも、恢復期の療養法を誤る事が最大原因ですから醫師は此の點に特に注意を拂ひます。

新生物製劑の若素（わかもと）には全身の病弱細胞に活力を與へる多種の榮養素や、之を利用するに必要な酵素が豐富に含まれてゐるので結核や胃腸病者が用ひて、その恢復を早める爲に適當した藥であります。

便秘の害毒と下劑によらぬ快便法

ごく手近な例で、小鳥が糞づまりすると、ぢきに死ぬのは御承知の通りで、便通の停滯はそれ程に一般生物の健康に害を及ぼしますが、人間は、小鳥ほど極端な危險はありませんが、

毎日 一回づつ便通のあるのが生理上普通であつて、幾日も便秘するのは確に病的ですから、等閑にすると恐ろしい結果を招きます。

便秘には大體二通りの症狀があつて、一つは汎發性、つまり一種の全身中毒症狀を起し頭痛、目まひ、惡心嘔吐や不眠、神經衰弱、皮膚の吹出物等を誘發しますが、之は元來、吾々の大腸內には

食物 と一緒に入つた細菌が澤山ゐるが、便秘の爲に糞便が停滯すると、それを根城に無數に繁殖して腐敗醱酵させ、その爲めに發生した毒素が、腸壁から血液の中に流れ込んで、全身を廻る爲であります。

その結果、血管を硬化させたり、生殖腺を衰弱させたり、根氣精力を奪ふといふ風に凡ゆる內臓

器官 の組織細胞に中毒して機能を減退に陷らせますので、有名なメチニコフ博士の如きは「便秘者の人に長壽者はない」とまで力說されてゐるのであります。

又局所性の方は腹が張つて重苦しく、ガスが溜り、食慾が阻害される等の症狀が現はれますが、之は謂はゞ第一期の症狀で此の際便通をつける事を怠ると軈て汎發性に移行する事は申迄もありません。

便秘の治療法として、一番よいのは食餌療法で、早朝空腹時に淸水や食鹽水をのみ、腹部を按摩するとか、平素肉類を多食してゐる人では、野菜や果物を多く食べるといふ風に心掛くべきです。又蜂蜜、牛乳の飲用も便通をつける爲にはよい方法であります。

人によつては、便秘が續くとすぐに下劑を用ひますが、下劑で通じがつくのは、腸に機械的の

刺戟 を與へて排便を催させる爲なので、原因たる腸筋の弛緩や痙攣が正常に復した譯ではなく、從つて效果が一時的を免れず、自然と濫用に陷る弊害も考へねばなりません。若素（わかもと）は下劑でないのに、之を服用すれば快よい便通が得られ、而も腸を丈夫にする效果があるので、素人が便秘を快復する爲には適切な藥だ、と云はれてゐます。

この藥には腸內の細菌や毒素を殺菌、消毒する整腸作用がある上に、夥しく含まれた酵素やビタミンB等には、食物の消化をよくし衰へた胃腸の機能を活潑にする細胞形質賦活作用もあるから、便秘の原因そのものを治癒に導くことが出來、その結果生理的自然の便通がある樣になるのです。

榮養と育兒の會は我國民の健康增進と、乳幼兒死亡率の遞減を目的に設立せられ、其附屬事業の一として世界的に名高い若素（わかもと）を一日數錢に充たない低廉の實費、卽ち二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓で頒布され當地の藥店で取次いで居ますが、出來有名藥に類似藥の續出するのは免がれぬ所、殊に若素（わかもと）は取次口錢が少なきため、利益のみ追ふ藥店では、まま效果に大差なしとて他の類似藥を勸めますから御注意あれ。外觀や名稱が似てゐても、榮養と育兒の會の新生物活性劑而も專賣特許の若素（わかもと）は絕對に他で眞似ることは出來ません。「榮養と育兒の會」の所在は東京市芝公園大門（振替口座東京一七〇〇番）

友人に教へられた藥で長年の胃病が
（長野）細谷宏次

私は何時の頃からとも、はつきり記憶はしてゐない程前から、消化不良となりまして、少しく過食するとか、消化しにくい食物を食べますと、何時も定まつた樣に胃が惡くて困りました（中略）

家は農業でありますので、働かねばなりませぬが、働けば疲勞して恢復には手間取り家の人々には何時も迷惑許りして居りました。然し、私としてもつと重大なことは、不健康に伴ふ精神の不健全でありました。何となく悲觀して心の持主であつたことです。

去年の夏休みに同級生であつた友達と、久しぶりで逢つて色々と話した時も、すぐ病氣ではないかと云はれた程の身體でありました。其の時、友達が自分の消化不良で困つた時「錠劑わかもと」を用ゐたこと、效果等のことを詳しく聞きました。

（中略）そして、服用して居りますうちに、だん／＼快くなつて來るやうな氣がしはじめましたので、それ以來本年一月まで續けて使用して居りました。

終にはもう大丈夫と思はれる程でありましたが、念の爲と思ひまして——用ひ始めまして以來はとても愉快になりました。仕事も面白くなりました。身體も活々として、體重も增して來ました。（後略）

學藝欄

滿人文藝紹介
張爺さん（營口）
緑　蘋　作
川内　堯　譯

張爺さんの黒い顔は大變可哀さうな又落ち着きのない表情を現はしてゐる、傾いた土壁の下で、手に小さな煙草入れを持つて、パッ、パッと吸つてゐる、白の煙が口から出て首のあたりを廻つて南風に北へ吹き飛ばされて行く、暫らくするとその鐵のやうな手で煙管の火を押へつける、それから又息強く吸ふ、灰を棄てる、それから腰に挾む、下を向く、何か考へ込んでゐる樣子であるそれから又頭を上げる、空は晴れてゐる、白い雲が棉のやうに浮んでゐる、電線には燕がとまつてゐる彼は手で蓬々たる頭髮を掻く、それから長い溜息をもらす、

「ううん、錢がないなら店に來て飯を食ふことはおことはりだ…」

南の方、張爺さんから二十メートルの所に、小さな土の家があつて、門口には赤く大きな字で「張家老店」と書いてある、其處からは罵る聲が聞えて來た

張爺さんはこの言葉を聞いて、空から雷が落ちたやうにびつくりし、その黒い顔はます／＼慌しく油を注いだやうになつた、口でむづむづ言つたが、何と言つたのか判らない、立ち上らうとしたが又坐つてしまつた、そんなにして暫くぐづ／＼してゐたが坐つたまゝ手で足を卷いた布を擦り乍ら、頭の中では少し以前の事を考へ直してゐた

或る年の寒い冬だつた寒風は人を恐怖さすやうに吹いてゐた、張爺さんは一兩出して刀と土とを買ひC胡同で二日間かかつて三尺程の高さの火爐子をこしらへた、これは仲間のB老人から教へられたのだつた、それから十斤ばかりの甘藷を買つて來て、どんなに寒い日でもそれを燒いた口では「甘藷を燒きや暖かになる！」そう言ひ乍ら、そうした毎日は苦しかつたが、それでも飯代と宿賃とは稼ぐことが出來た

春が來た、春の神は春の種子を蒔いた、それはいいが、張爺さんは困つた、もう甘藷も燒けなくなつた、彼の生活は苦しくなつた、そして埠頭に行つて荷擔ぎをしてやつと食つてゐた、仕事の無い時は河口にぼんやり立つてゐた、船が來れば七八角は貰へた、

張爺さんは確かに不幸だつた、或る午後、あばたの男が豆粕を張爺さんの足に落した

「わあつ！わあつ！」張爺さんは倒れて泣き叫んだ、それから病院へ擔ぎ込まれた

×

病院では藥をつけ繃帶をされた

「院長は同情してゐるから診察費はみなで五角五分に負けてあげる」

若い見習ひが書き付けを持つて來てそう言つた

そのとき足の具合は幾らか良くなつてゐた、それでもポケットには銅貨八枚しかなかつた、「わし、わしには、ここには八錢しか無え…」そう言つて心配さうな顏をした

その時、山東生れの兄貴分のあばたの男がゐて

「お前が拂ふことは無え、俺が出してやる」

と言つてくれた、張爺さんはどうすることも出來ず、ただ笑ひ顏になつた

あばた男はいさぎよげに腰間から六毛錢出して靑年に渡し、五錢の釣りを受取つた、それから又皆で張爺さんをD胡同へ擔いで歸つた

張家老店に休ませて、皆は去つた、張爺さんは高粱粥をすゝつた、もう夜だつた、ねぐらに歸る鳥の聲が聞えた、街のざはめきも靜まつて行つた、張爺さんはこの靜けさの中で、隣の男のいびきを聞いてゐた、眠れなかつた

二日過ぎた、あばた男は來もしなかつた

三日の朝はもう食ふ物が無かつた

「おい、何を言ふんだ、駄目だよ、半月もそんなのがゐたんだ、明日拂ふと言つて行つてしまつた、店にだつて錢は無えんだ…」

店の主人の言葉は荒くなつて行つた

「私はきつと明日拂ひますよ君子の一言と言ふぢや無えですが」

張爺さんは憐れみを乞ふてそうたのんだ

「何と言つたつていけないよ早く出て行つてくれ」

もうそう言ひ乍ら手を取つて引張り出さんばかりであつた

「そ、そんなにしなくても出て行きまさあ…」

張爺さんはそう言ひながら床から降りて、汚れた鞋を穿いて、びつこを引き乍ら外へ出た、家中の者がそれを見てゐた

張爺さんは外へ出て土壁の所に腰を卸したのであつた、そして煙草に火をつけ、さつきの罵聲を思ひ出すのだつたそうして考へ込んでゐると、もう頭はぼんやりしてしまつて土壁にもたれたまま、自づと涙が鼻の所まで流れ來、襟の所まで傳ふて行つた

生―
渡邊鮎子

舞台は壁のある街路
通行人上手から登場、下手へ退場
あゝ、あの人はそのやうにして行つてしまつた
觀客席の隅つこに
眼を心を火のやうに燃やし
私はあの人が私を見付けてくれるのを待つてゐたのに
人生といふ芝居が私には第一幕の閉幕であらうか

涯しなき饒舌
―近東綺十郎―

（一）黒白友情

一年ぶりに、又滿洲に歸つて來た。昨年の三月、奉天を後にする時は『東京に行つて大いに貧乏するんだな、然し大いにやつてくれることを祈る』と激勵してくれる友人と『何で今更、東京へなんか行くのだ、いい年をして、文學もないぢやないか』と、生活のことを心配してくれる友人もゐた

甚だ、不愉快なことだが、或る親しい詩を書く男などは、僕の姿が奉天から消えると忽ち、僕の上京について、奇怪な悪宣傳などを撒きちらしてゐる、僕は先日、一二の文學關係の人たちから、その話をきいて、友人と言ふ小さな集團の中に、小さな社會の表情が構成されてゐるのを感じた

その男は最初僕と會つた時、一かどのマルクシストであつた、組合運動をやつて内地の勤め先が面白くなくなつたから…とか言ひ、當時の僕等一種の畏敬を感じた男であつた

その男が月が經つうちに、漸く本來の姿？を現はし、百貨店の女の子に不良少年の樣な戀をしたり、犬の遠吠のような唯物史觀を獨唱したりして甚だしい混亂の狀を示して交友の我々としても迷惑を感じたりした

そして彼が、表面左翼的な大きな望を抱いて、大枚二百圓餘の貯金を下して、東京旅行に出かけた時そして彼が、大言壯語のすべてを裏切つた、卑怯な土產を以て歸つて來た時、僕は彼に大いに、苦言を呈したものだ

僕の假借のない言葉が、大分彼を損つたのは事實らしかつた、彼が一介のサラリーマンとしての行方のため、よかれと思つて忠告した事は、單に彼の僕に對する心證を害しただけに止まつた形になつてしまつた……

然し私は今、彼の本來の姿をよく知ることが出來る、彼は一種のスタイリストなのだ、我々が左樣である樣に、彼も亦、一種のダンデイなのだ、唯彼の誤りは、彼がその彼の胸に飾る一種の造花のため、一人の友人を賣つたことになるのだ―私は、此の頃甚だ健康な思想的コンデションにある私は、彼の惡宣傳が私の知人たちを蔽ふてゐる事を知つた時も、何か窓の外を吹く風のような影響しか感じなかつた

×　×

東京を離れて、胡沙の國遠く旅立たうとした時、東京の友人たりは一齊に反對した

これは僕の文學的將來を考へた、溫い友情の發露であつた

偶々神戸から上京してゐた玉井信二君なども口を極めて、東京を離れる不利を說いてくれた、大森から、淺草から、新橋驛裏の僕の家へ、押しかける離京反對の友人連の言葉は、一時全く僕の存在を、友情地獄の中においた

僕はそれ等の友人の一人一人に僕の生活の負擔を說き、その生活のためには胡沙の國であらうと流氷の島であらうと行かねばならぬのだとの決心を語り、大いに諒解を乞はねばならなかつた

×　×

埃風天を衝く新京の明け暮れ黒白二つの友情の流れを見、感慨自ら深からざるを得ないではないか

旅行便り（三）
―新京商業學校―

下關―宮島
―第三信―

憧がれの母國の夢を乗せて私達の船德壽丸は釜山の波止場を後にして一路下關へ

玄海灘は私達一行の爲にも穩かであれと祈つた効あつて一同朝まで醉はずに憧れの母國の夢を見て居る

五時、エンヂンの音に夢から覺め、デッキに出て見ると霧の樣な雨が降つて蓋井島は未だ霧の中に靜かに眠つてゐる鷗は波を縫つて飛び交ふ鷗と共に下關へ

七時半懐かしい氣持で一杯になつた胸を轟かせて初めての母國への第一步を私達は力強く踏みしめる先づ山陽デパートに行く道々春雨の中を男女の別なく生々と活動してゐる姿を目のあたり見る、私達は斯の如き有樣を見て滿洲の生活樣式は安價な勞働賃金に依つて滿人を使用出來得る點から各家庭に滿人ボーイを使つて居る、故に滿洲に於ける中流家庭の婦人は徒に安逸なる時間を過して尊い時を空費して居る樣に考へらるそれに引代へて内地の婦人は實に眞劍に滿洲の下賤た人々がする樣な仕事でも厭はずむしろ進んでやつて居る樣に見受けられる、近來男性の職業が女性に依つて侵されて來たとは言へ女性が斯くも活動する時に我々男性のあらゆる點に於て働き得ると言ふ事を信じ職業の貴賤をとやかく言ふのは最大なる誤解である事を發見した

新京を出て以來滿洲の大平原又は朝鮮の長閑な景色に接して來た私達も下關に第一步を踏みだした時既に生活意識を明日に認識し現今の日本の生存競爭の激しいのを今更の樣に知る

朝食後一時間程の自由散步を得て各自市内に出る、僵る樣に降りそぼる雨の中をバス、自動車は如何にも忙しそうにあちこちに往來する名物店を覗いたり記念スタムプを押したりして面白く有効に時間を過し九時再び山陽デパートに集合停車場に向ふ滿鐵線のゆつくりした列車に馴た滿洲子は内地の列車の小さいのに驚いたり不平を述べたりしてゐる、九時四〇分發車喜びと希望に滿ちた我等一行を乗せた列車は宮島に向つてゐる沿道の櫻の花に喜び、菜種の花や竹藪に、又は茅ぶきや瓦屋根の障子の家のまに／＼ちら／＼と見える夏蜜柑の木に日本人ではありながらも滿洲に育つた僕たちには異國情緒の氣分にさせられる、それ程母國の氣色は繪の樣だ或る外國人は此の景色を評して日本は庭園の國と言つたのは最もな事であると私達は思つた

宮島に二時過ぎに到着、連絡船にて嚴島に渡る、然し未だ雨は止みそうでない、先づ五丈三尺もある大鳥居を通り嚴島神社を參拜する、千數十年前からある此の神社に對して知らず／＼の間に頭の下るのを覺える、沖を遙かる見渡せば細雨の爲にぼうつとして何とも言へず振り返つて頭を上に廻らせば山の頂も細雨の爲であらう雲が掛つた樣で得も言はれない、これが晴れてゐればどんなに美しいかと思ふと殘念でならない、七時に連絡線に依つて宮島に行き七時五十分宮島出發京都へ

赤ペン放送室

近頃では滿人街を行くと、街に流れる蓄音機の響きは大したものだ

大きな店では、擴聲器を備へて名優のせりふや吹込を大衆に聞かせてゐる小さな床屋までが小窓の一つを開けて小型留聲器だ最近の支那製レコードの賣れ行き如何と一滿人商店を訪ねれば次々に目錄を示しながら次のやうな話であつた、一番賣れるのはやはり一流俳優の吹き込んだ大物である、すなはち勝利（ヴイクター）の老け役馬連良の吹込んだ「秋胡戲妻」「洪羊洞」「夜審潘洪」「哭劉表」それから高慶奎の「哭秦庭」「王文宸の「四郎探母」「空城計」梅蘭芳の「楊貴妃」「玉堂春」向小雲の「女起解」（パテー）では玉少樓の「珠簾寨」言菊明の「武家披」なほ亞細亞榮利公司の製品もいろ／＼と來てゐる、いはゆる新音樂といふものもいろいろあるがこれは思つた程賣れない由、反つて廣東音樂とか平津雜曲などローカルカラーの勝つたものがよく出るそうである

爆撃機
「黎明」同人は何處に

大正十二、三年だから、長春もずゐ分古い時代だが、僕らは「黎明」といふ文藝雜誌を長春でやつたものだつた、會員三百以上を獲得して三年ぐらゐ續けたらうか、相當なものだつた

×　×

あの頃の同人たちは今どうしてゐるか？現に引續き文藝の仕事をしてゐるのは、奉天にゐる淸島蘇水氏が「新天地」に時々書いてゐる位、それから俳句で萬木秀作氏がなほつづけてゐる、佐藤通男も役人になつて餘り書かないし、チエンリーこと淺利勝は死んでしまつた、堀川艶之助なぞお父さんになつて納まつてしまつた、小倉君、武藤氏またこの類ひ、柿沼實また然り

×　×

所で「高粱」の同人諸君をあまり知らないが、ひとつ大いにやつて欲しい（大內隆雄）

ROHTO

シマズ イタマズ

正しき高級眼科藥 ロート目藥

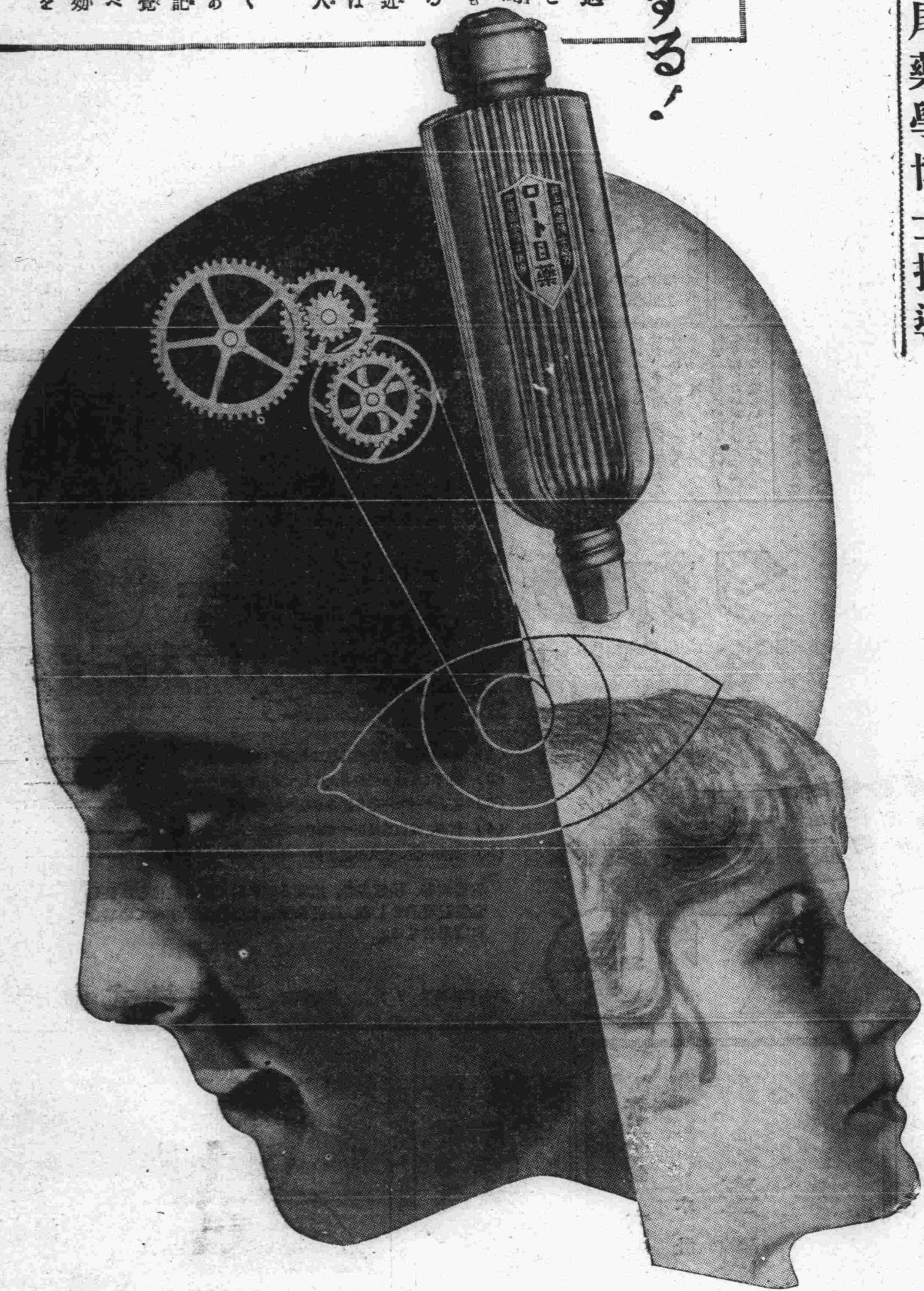
井上獨逸博士處方
中尾藥學博士指導

眼は腦を支配する！

度の合はない眼鏡をかけたり、或は長時間過度に視力を用ひた時、頭痛や、倦怠を覺ゆることは誰もがよく經驗する事である。これは卽ち眼が直接腦の働きに關係し腦を支配するものであることを明かに立證してゐるのである

斯かる狀態になることを醫學上では眼精疲勞と云ひ、近代人、特に細い文字を讀み書きする學生や事務家、或は長時間裁縫に從事したり、職業的に微細な物體を視る人等に多くある近代的疾患の一つである。

眼精疲勞に罹つた場合は、初めは眼が疲れ易く物が朦朧と見え、頭痛や頭の重い感じを覺える程度であるが、これが更に進むと睡眠が不良となり、判斷力や記憶力の減退をさへ告げる樣になる。この樣な症狀を自覺した場合は決して放任することなく、その原因となるべきことを避けると同時に、ロート目藥の如き健眼の効果のある、正しい眼科藥を毎日數回點眼して眼に休養を與へ之を愛護することが肝要である。

結膜炎

結膜炎といふのは結膜、卽ち眼瞼の裏及び眼球を蔽うてゐる結膜に起る炎症で、俗にはやり目、やに目、はれ目、ち目等と呼ばれてゐます。原因はK・W氏菌等の黴菌、塵埃、强烈な光線などで、その症狀は輕い內は結膜の充血、眼脂の分泌、眼瞼の腫脹等ですがそれが重くなると、充血や腫れがひどく時には刺す樣な痛みがあり、又明るい光線に對してはまぶしくて眼があけられない樣になります。この結膜炎の療法としては毎朝洗面の時清水でよく眼を洗ひ、眼脂などの不潔なものを拭きとりその後で**ロート目藥**を一日、二三回點眼するのが有効です。**ロート目藥**はその殺菌作用で病原菌を殺し、消炎作用によつて炎症を散らし、收斂作用、鎭痛作用で充血や腫れを引かせ痛みを止める機能が綜合的に有効な働きをするのであります。

角膜炎

角膜炎は俗にほし目、つき目、かすみ目、たゞれ目などゝ呼ばれ、眼球の黑い部分に起る眼病であります。原因は草の葉や木の枝で突いた場合、或は結膜炎が進んで續發する場合が多く、黑目が濁つたり、白いほしが出來たりして眼が霞んで見え、或はひどく涙が出て眦に糜爛を起すことがあります。療法は大體結膜炎の項で述べた通りを實行すればよく、**ロート目藥**の優れた消炎作用は角膜の炎症に對して極めて有効に働きその收斂作用と相俟つて眼の曇りを去り糜爛を癒し、炎症の減退に從つて流涙は少くなり、鎭痛作用でその疼痛は抑へられるのであります。

適應症

結膜炎、角膜炎、トラホーム、學校眼炎、眼瞼緣炎、疲勞眼、結膜充血、角膜翳、麥粒腫等

俗稱　のぼせ目、はやり目、たゞれ目、やに目、血目、かすみ目、ほし目、こり目、くもり目、雪目、めぼし、つき目、はれ目、かわき目等

小兒の眼病に就いて

二、三歲より七、八歲位までの幼兒に於てよく見受けることですが、朝起きた時眼瞼の周圍に眼脂が附着し、甚しきは眼脂の爲に眼が明けられないことがあり、又急に白眼の部分が淡赤く充血したりする場合があります。之れは多くは急性の結膜炎に罹つてゐるのであります。お子樣方の眼疾治療には特に小兒專用として處方調製された「小兒用ロート目藥」が有効で、シマズイタマズ安心して使用することが出來ます。

新案特許

ロート式自働點眼容器

使用法說明　下部のキャップ（ネジ蓋）をとり、瓶の上のゴムを輕く押せば目藥は一滴づゝ出ます。藥が少しも無駄にならず便利衞生、經濟を兼ねた最新式の點眼容器です。

生產合理化
藥價低廉

小瓶	二十錢
大瓶	三十錢
德用	五十錢
小兒用	二十錢

◎全國各藥店に販賣す

本舖 山田安民藥房
營業所 大阪市東區南久寶寺町
工場 大阪市東成區猪飼野町

新電話交換局の出現で 局番號實施せん 城內、新發屯方面の 電話番號も變更の模樣

十一月竣工の電々會社の本社內に電話交換局が設置され、現在の南廣場の交換局と都合新京に交換局が二ヶ所になるわけで、從つて電話番號も現在の四數字の他に局番號一數字を增し五數字の呼出し番號となるので、中央電話局ではかねて富士電氣會社に注文中であつた交換機が七日到着したので總工費十五萬六千圓を以て方式變更工事に着手したが十月上旬までには完成の予定である、局番號は大同廣場の本局が「二」で、南廣場は分局となつて局番號は「三」と決定した、なほ同時に切替へられる城內の滿洲電話および新發屯方面は本局の通話區域となるので近くこれが電話番號の變更も行はれる模樣である

京濱線の 發車時刻變更

既報、京濱線では十日からダイヤの改正を行ひ夜間運行旅客列車一往復を增設したが同列車のほかに從來新京を午前十時四十分に發車してゐた第三旅客車は午後二時四十分發に發車時刻を變更し同列車はハルピンに午後九時着となつた、なほ他の列車の發着時刻には變りなし

儒道大會へ 滿洲國學者の招請 湯島聖堂の復興記念に

三百年來文教、德化の中心をなしてゐた東京湯島聖堂は關東大震災に會つて灰燼に歸しその後五十萬圓の復興費を以て再建を急いでゐたが、この程漸く完成したので復興第一次の釋奠を機として廣く內外の同志を招請して儒道の宣揚と同文民族の親善を計るため來る二十八日から三日間儒道大會を盛大に擧行することゝなつたので斯文會々長德川家達公から文教部大臣宛學者五名、通譯一名の派遣方を招請して來た、文教部では目下派遣人員の嚴選中であるが近く決定の模樣である、なほ大會終了後一行は宮內省圖書寮、新宿御苑、帝國大學、帝室博物館、各新聞社、明治神宮等を視察、江ノ島、鎌倉その他名勝、古跡を見物して五月中旬歸國の豫定である

頭をなくした「社員會新京聯合會」 會長、評議員に五名欠員

滿鐵社員會新京聯合會では鐵道事務所廢止で中川聯合會會長を始め小田、北門、山下各評議員は當然失格となり十八名の評議員定數に對し四名不足それに現在北鐵接收派遣員として北滿各沿線に派遣されてゐるものゝ中に奧田評議員あり派遣期限滿期と同時に奧田氏も北滿在勤になるものとみられ結局五名の缺員になる、中山會長轉勤で早速會長不在となるのでとり敢へず會長決定方法としては現幹事が會長代理をやるか、或ひは評議員長を決定するかの二方便があるが、補缺選擧を行ふなら近く派遣員の派遣期限滿期になつた上現在分會員數を本部に報告の上定數を決めて選擧されるはずでとり敢へず幹部の中から一人代理を置いて補缺選擧を待つ模樣、なほ聯合會長の代理設置は前例がないと

舊水票の取換へ 料金改正から

來る五月一日から附屬地內の給水料金改正の結果水票一枚が七厘から九厘に値上されたことになるので、地方事務所では舊水票を新水票（赤色）と取換へることになつたが取換へ期間は四月二十日から五月二十日まで、場所は祝町三丁目十三番地水票發賣所堀志保氏方で舊水票五枚每に金一錢を申受けることになつた、なほ右期間中に申出ない場合は取換へを拒否することあるかも知れないと

星ケ浦の强盜 近く逮捕

九日午後十一時四十分頃大阪町大タク運轉手齋藤某（二十六）がプリモスを操縱して西公園町附近に差かゝると、何れも中折にレーンコートの三人連の一人に呼止められ、星ケ浦にやれと命ぜられたので、言はれるまゝに丁度十二時近い頃星ケ浦公園東門附近に差かゝるや、車を止めさせ二人が車を下りた途端擽て諜合せたものか車中に殘つた一人が突然齋藤の首を絞め隱し持つたピストルを運轉手の背後に突付け、ひるむ隙に車外の一人が素早くドアを閉め運轉手がやつと稼ぎ蓄めた其日の賣上げ三十六圓餘を强奪、行がけの駄賃に免許證、ガソリン券も失敬、臨海浴場方面の闇の中に逸早く姿を隱したと言ふのが事件の全貌で急報に接した沙河口署では直ちに手配犯人搜査中だが、現場に遺棄された犯人の所持品と覺しきものから既に目星がついたものゝ如く兩三日中には逮捕の見込みである

京中保護者總會 新幹事を指名

新京中學校では十日入學式に引續き保護者總會を午前十一時から開催したが參集者五百余名、幹事長塚本良禎博士、矢澤同校長の挨拶についで塚本幹事長から、昭和九年度會計決算、十年度收支豫算について說明あり滿場一致承認、ついて役員選擧に移つたが舊幹事はいづれも留任、新入生父兄から各學級二名當て追加磯野、福井、江部、近藤、高田、瀨川、千葉、大本の清氏を塚本幹事長から指名し引續き會則改正を附議して正午すぎ散會した

西公園賣店 けふ入札 申込者廿六名

新京地方事務所土地係では今夏西公園に開く賣店開業希望者を受けてゐたが十日で締切り十一日午前十時から西公園事務所で入札する遊[illegible]商、飲食店の溢れてゐる新興國都だけあつて僅か八箇所の候補地に對して三十六件の申込者とは新京ならでは見られぬ人氣ぶり、うち寫眞部が二箇所に對し四件の申込み

首都の空は 市民の手で 防空獻金壹千圓 大興公司の美擧

滿洲防空協會新京支部では「首都の空は市民の手で」の標語の下に防空思想宣傳に大童の活動を續ける一方防空施設に就ても高射機關銃一〇、高射機關砲四、探照燈三、大空中聽音器一、小空中聽音機二等の防空兵器整備に決定し右施設資金として約廿萬圓の防空獻金を一般から募集することゝなり康德元年末より寄附金募集を開始してゐるが本日大興公司より新京支部宛一千圓の防空獻金の申出があつた、これにより四月十日現在に於る新京の防空獻金額は約六萬二千圓に達し市民の防空熱の旺盛を示してゐる

尙滿洲國警士某は南軍司令官宛憂國の至情溢るる手紙を添へて五圓の防空獻金を申出たが本日軍司令部より新京支部へ送達されて來た

不慣れや故障から 京濱線延着頻り 接收後の期待は裏切らる

さる先月二十三日北鐵は滿洲國に買收され營業は全部これを滿鐵に委任され運賃サービスは勿論列車の定時運轉にいたるまで從來ソ聯側の運轉さる時より遙かに一般旅客にとつては便利になるものと多大の期待をもたれてゐたが同鐵道接收後僅か二十日足らずの今日にいたる間最近になつて連日列車の延着で乘客、出迎人に不安と迷惑をかけこれまでの一般旅客の期待は全く裏切れたかの感がある、即ちさる八日午後三時着第二列車は三岔河驛における列車入換作業の事故と風速のため一時三十八分遲れ午後四時三十八分到着、翌日九日午後七時二十分着四列車は哈拉哈驛通過後第七、八兩車輛連絡の連結器挫折事故のため一時間三十七分遲れ同八時五十七分漸く到着、處が同線夜間運行開始初日に當る十日午後三時着第二列車がまた〳〵延着で益々利用者に不快を抱かせるにいたつた、十日の第二列車延着理由はハルピン發車に際し閉塞器の故障を發見し之が爲約十分遲れて午前九時三十五分發車し途中二十八分順延で結局三十八分間遲れ三時三十八分に到着した、滿鐵本線においては萬一事故のため十分二十分遲發しても途中にとり戾すが京濱線の今回三日連續の延着事故ではいづれも順々に遲れて來る始末であると、京濱線とは勝手が違つてその不慣れが原因してゐるものとみられてゐる

客荷の激增も 一つの原因

京濱線の延着連續事故の直接原因としては擧げる程の原因はないがまづ考へられることは客、荷の激增でこれが積卸しに時間をとり定期運轉が行はれず順延になるらしい、接收後の京濱線は從來拉濱線廻りの小荷物が接收後は拉濱線廻りより運賃が安くて早く着く關係で全部同線で輸送されるので客荷が增加し旅客は超滿員、荷物は積み切れず每日一、二輛づゝは手荷物車を增結しそれでも積み切れぬ狀態である、そのため機關車の牽引力をにぶらせる關係もあるらしい、それに從業員にしても鐵道人とはいへ從來の滿鐵

關東軍の經濟顧問 大野氏着任

關東軍司令部に新設の顧問部經濟顧問を應諾した大野錄一郎氏は十日午後二時着列車にて入京した、寫眞は、向つて右大野氏（新京驛にて）

電話局辻庶務課長着任挨拶

電々會社新京中央電話局庶務課長に來任した辻正一氏は十日午後本社を訪問着任の挨拶があつた

太陽劇團 愈々けふ開演

演劇による國家意識の强化を目指して、各地に於る壓倒的な好評裡に公演を續けつゝある大橋幸太郎統率の「太陽劇團」一行五十餘名の一座は愈よ十一日より二日間（晝夜公開）記念公會堂において、在鄕軍人會新京聯合分會主催、關東軍、滿鐵、領事館、警察、國防婦人會、商工會議所、鐵路局、本社其他の後援の下に華々しく蓋を開けることになつた、上演脚本は軍事教育通俗劇「國の光人の妻」社會劇「親の光は七光」其他で、前賣券の賣行などから見て既に異狀な人氣を煽つており時局から本劇團の公演は國民意識の確立に資するものがあらうと期待されてゐる（前賣券一圓、會場扱一圓五十錢）

新京チーム 野球練習始め 來る十三日西公園で

いよ〳〵本年もスポーツシーズンに入つて新京野球クラブでは來る十三日からグラウンドで練習始めを開始することに決定、當日は初の練習後選手および後援會幹事の合同懇親會を同所で開催するはず

各部局對抗野球 11—1 文教部大勝 對外交部

滿洲國野球協會主催各部對抗文教部對外交部二回戰は十日午後四時三十分から大同廣場で外交部先攻で開始十一對一で外交部慘敗閉戰六時

地方事務所野球 21—5 地方係大勝 對土木係

CD主催地方事務所各係リーグ土木對地方係の試合は十日午後四時十分開始二十一對三で地方が大勝した

奉天醫大で 產婆試驗

關東局衛生課では五月三十日から三日間に亘つて奉天滿洲醫科大學で產婆試驗を施行する、志願者は產婆試驗規則による願書を四月二十五日までに同課まで提出のこと

滿人街に聽く（五） 親は無くとも子は育つ…… 映畫"母の手"滿洲版 新京育嬰堂訪問記

總領事館の裏側西角から西四馬路へ出る路次に、新京育嬰堂がある

文字の示すやうにこれはよるべなき滿洲の子供たちを育てる所、注意すべき特異な社會施設である

滿人街に聽き歩いてゐる記者は綠色の扉を排して刺を通じた、あひにく管理人がゐないとのことであつたが、事務の女の人に色々と話を聽き、又內部を參觀させて貰ふことが出來た、先づ現在子供が何人ゐるかを聞く

答　今十四人ゐます、その內二人が男で十二人が女の子です、年齡は五歲一人が一番上で、四歲が三人、あとはそれ以下です

問　保姆の方は？

答　保姆が一人、看護婦が一人、そのほかに女が五人ゐて色々の仕事をやつてゐます

問　子供におやりになるお乳は何ですか？

答　代乳粉（ラクトーゲンのこと）に鷲印ミルク、それと米の重湯です

問　此處の經營に要する費用は何處から出てゐるのですか？

答　此處は三道街にある紅卍字會の經營になつてゐます

なるほど出入りする女性の白い上衣の腕に赤い卍のマークがはいつてゐる

問　子供が大きくなつたらどうなさるんですか？

答　まだ設立が新しいのでその具体的な問題が起つてゐません

問　何時設立されたのです？

答　つひ去年の九月ですからまだ仕事のやり始めなのです

問　非常に靜かなやうですが

答　えゝ、ちやうど今お晝の睡眠時間なのです、みんなよく寢てゐます、御覽になりますか？

ぜひ、と案內を乞ふて事務室から嬰兒室第一室、第二室、招待室と參觀する、もつと滿洲式の所かと思つたら想像に反して實に淸潔な部室であり諸道具である並んだ寢台の數約三十、南の大きな窓から射す陽光を受けて明るい樂園に邪心無き子供たちがすやすやと睡つてゐる、夢は豐かにお伽の國にでもはしるのか頰のあたりに微笑を浮べる女の兒がゐる、生活辛くやむなく棄てられた子供たちとはどうしても見えない、みんないゝ血色をして、まるまると肥つてゐるのだ、やがて子供たちは起き出した、斷髮[illegible]衣の若い女性たちはおしめを替へたり乳瓶を含ませたり大へんな忙しさだ——特筆すべきは外の通りからも知られる兒を棄てるための裝置である、寫眞は出した所だが、引き戶を押して中の箱を引き出すとベルが鳴る仕掛になつてゐる、斯うすると親は自分の顏を知られずにすむといふ行き屆いた心遣ひがこの裝置である、社會政策の周到な用意に感心させられる、なほ子供たちに女が非常に多いことが興味を惹く、これについては滿洲、支那社會の特異性を語る問題が存して居る別の機會に報告することにしやう

皇帝陛下に扈從して東京に在る沈宮內府大臣、黑松白鷹を愛飲するといふくらゐの日本酒黨、日本で飲む日本の酒の味は如何にと問ひたくなるが、考へて見ると大事な供奉の重任にぐわいよく醉へないかも知れない

皇帝御訪日の兩三日前の夜八千代館の樓上、新聞通信の幹部を招待した席上、その一人〳〵の前に大あぐらイー、アル、サン…と拳をやつて負け飲みをやり三遍やれば二遍負け、五遍やれば四遍負け、アイヤー〳〵と頭をかき乍らも、いくらでも飲んだ愛嬌ぶりが眼に殘つてゐる

それで少しも醉つたやうな樣子がみへなかつたくらゐだから相當な酒量があるんだらう然し酒の强さに於ては張軍政部大臣の方が一枚上かも知れない、張景惠氏はブランデーのグラスを五六十杯くらゐひつかけて知らぬ顏をしてゐるさうだ

女人婆羅門（にょにんばらもん）

（舞臺上演映畫化）　長田秀雄　西正世志畫

（百十三）

赤城の蹴（四）

隅ケ浦へ着いた。

と、娘は砂地の上に突立つてゐたが、思ひきつて、

「あの妾の家までいらつしやいませんか、お差支えなければ」

お藤はちよつと考へてゐたが、

「えゝ、お邪魔しますわ、お孃さんさへよろしければ……」

二人は、砂地を話し合ひながら歩いた。

「お孃さんの名は何とおつしやるの？」

「妾、梅子と云ひますの、小母さんは？」

「妾、お藤と云ひます」

お藤はさう云つて、急に立止まつて梅子の顔をみつめた。梅子は美しいお藤にみつめられて、面映ゆい氣がした。

（梅子ー　梅子ー　ひよつとしたら）

と考へたので、お藤は、

「そして姓は何と云ふの？」

と訊ねると、

「妾、中野梅子と云ひます」

「えゝつ！　中野梅子、中野梅子！」

「小母さん——どうなすつたの」

「いえ——妾、どうも致しません妾の知つてゐる人の中に、やはり中野梅子と云ふ人があるものですから……」

「まア！　でも世の中には、同じ名前の人もありますから、よくそんな事がありますわねえ……小母さんの知つてる中野梅子といふ人どう云ふお人？」

「その梅子といふ人は、丁度お孃さんくらゐな年頃で、もと伊豆國修善寺の奥、猿泣山の傍にお住居になつてゐた静岡縣の士族の中野四郎兵衛といふ人の娘さんで……」

お藤がそこまで話すと、中野梅子は驚いて、

「えゝつ、そ、それは妾の本當のお父さんですわ」

「それでは中野四郎兵衛の娘の梅子ですか？」

お藤はよろ〳〵と梅子に取縋つた。

梅子は驚いて、

「そして、貴方は、どう云ふお方ですの？」

お藤は暫らくためらつてゐたが

「……妾はお前の母親です」

「えゝつ、お母さん！」

梅子もしばらく呆氣にとられて、お藤の顔をみつめた。

だが、やがて、そのつぶらな瞳から、一滴、二滴……があふれて來た。

「お母様！　おなつかしうございます——どうもさつきから、お話の様子といひ、また、お顔も……子供の時に、ぼんやりおぼえてゐるお母様によく似てゐるやうな氣がして居りました……お母さまの事は……妾……一日も忘れたことはありません。妾……妾、嬉しうございます、……それにお目にかゝれるなんて、ほんとに不思議で……」

お藤も涙を拭き〳〵……。

「妾だつて同じことです。お前に向つて、今さら現在の母だとぬけ〳〵と名乗られた義理ではないけれど、一日だつて忘れたことはありません。暑さにつけ、寒さにつけ、娘はどうしてゐるだらうと考へると、世の中が急に味氣なくなつて……そのたびに一人で泣いて居りました」

お藤は涙にむせんで砂地の上に泣き伏した。

「お母さま、しつかりなすつて下さい。——勿體なうございます。さうしてお母さまは、どういふ譯で、こんな伊豆の下田から三百里も離れたこんなへんぴな島にお出でになりましたの……？」

「その仔細は、いろ〳〵とあるから、いづれ、ゆつくり話しませうが、それよりは、お前は、どうして……？」

お藤は、肩に手をかけて、じつと梅子の顔を見まもつた。